

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY

受験ガイド
2024



東北学院大学

LIFE LIGHT LOVE



入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本学は、次の点を評価して入学者を受け入れる。

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
2. 入学しようとする学部学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、その学部学科での学びを強く望んでいる。(学修への態度)
3. 高等学校における学習によって、基礎的英語力及び入学しようとしている学部学科での学修に必要な基礎的知識を有している。(知識・技能)

4. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/学修への態度)
6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(学修への態度)

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学は、所属する学部における卒業所要単位を修得し、次の学修成果が確認できた者に学士の学位を授与する。

1. 現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる。
聖書がもつ今日的意義を理解し、それらをふまえながら、現代社会の中でよく生きることについて、自分の考えを論じることができる。
2. 高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる。
高度な知的活動の基礎となる汎用的諸技能・能力(コミュニケーション力、論理的・批判的思考力、情報リテラシー、数理リテラシーなど)及び英語力を身に付け、活用することができる。
3. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や

- 価値観に理解を示すことができる。
自己や世界を歴史・社会・自然など多様な視点から認識し、異なる認識や思考方法、異なる価値観に理解を示すことができる。
4. 専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる。
専攻する学問分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。
 5. 課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる。
地域の課題をはじめとする様々な具体的課題を見つけ、それまで獲得した学修成果を総合的に活用することでその課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

本学は、学位授与の方針に定めた学修成果(以下「学修成果」という。)を達成するため、教育課程編成・実施に関する全学合意に基づき、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1~3を達成することを主たる目的として、教養教育科目、外国語科目、保健体育科目を置き、1~2年次を中心に授業科目を配当する。
2. 学修成果1を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「人間的基礎」を置く。その中核として聖書とキリスト教に関する授業科目を1年次と3年次に置き、それぞれ4単位必修、2単位選択必修とする。
3. 学修成果2を達成することを主たる目的として、教養教育科目に全学共通の授業科目群「知的基礎」を置く。また、学修成果2を達成することを主たる目的として、外国語科目のうち英語を4単位必修とする。

4. 教養教育科目の「人間的基礎」と「知的基礎」には、大学での学びに向けた初年次教育、基礎教育、能動的学修への転換教育、及びキャリア形成支援教育としての役割をもたせる。
5. 学修成果3を達成することを主たる目的として、教養教育科目に「学科教養」科目群を置く。
6. 学修成果4を達成することを主たる目的として、専門教育科目を置き、各学部の学位授与の方針に基づき編成する。専門教育に関する初年次教育、基礎教育、及びキャリア形成支援教育は、専門教育科目の中で行う。
7. 学修成果5は、能動的学修に向けた取り組みとして、すべての科目群、すべての授業科目において達成目標の一部とする。また、地域の課題発見と解決を主たる目的として、「地域教育科目」を置き、2単位必修とする。
8. 卒業所要単位及び履修方法は、専門教育科目の履修を中心としながらも、学位授与の方針に定めた学修成果をバランスよく達成できるよう適切に定める。

2024年度入学者選抜制度一覧

東北学院大学の入学者選抜は、全13種類。
それぞれの特徴を理解の上、あなたに合った受験方法を選びましょう。

学力試験で受験を希望する方

地区試験場 複数学科出願可能 WEB出願

一般選抜(前期A・B日程) p.08

スカラシップ選抜 p.13

一般選抜(後期日程) p.15

大学入学共通テストの成績を利用して受験を希望する方

複数学科出願可能 WEB出願

大学入学
共通テスト利用選抜 p.17

本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方
また、合格した場合は入学を確約できる方

専願

総合型選抜 p.20

各推薦制度において、条件を満たし、合格した場合は入学を確約できる方

- 学業成績による推薦…本学が指定した高校で、全体の学習成績の状況が3.8以上の方
- キリスト者等推薦…キリスト者の方、またはキリスト教の学校の生徒で条件を満たす方
- 資格取得による推薦…日商簿記検定または全商簿記検定で一定の資格を持ち、一定の学習成績の状況を満たす方
- スポーツに優れた者の推薦…スポーツで特に優れ、入学後もその競技を続ける方
- 文化活動に優れた者の推薦…文化活動で活躍し、入学後も活動を続ける方

WEB出願 専願

学校推薦型選抜 p.24

- 学業成績による推薦
- キリスト者等推薦
- 資格取得による推薦
- スポーツに優れた者の推薦
- 文化活動に優れた者の推薦

- 帰国生特別選抜…本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方
- 外国人留学生特別選抜
…留学を希望する外国籍の方で、日本留学試験の成績が基準以上の方
- 社会人特別選抜…高校を卒業して2年以上経つ方

WEB出願

特別選抜 p.33

- 帰国生特別選抜
- 外国人留学生特別選抜
- 社会人特別選抜

短大・専修学校卒業の方、大学に一定期間在籍し必要単位を修得した方

WEB出願

編入学選抜 p.36

各種データなど

募集要項について……………	38	入学者選抜結果……………	44
受験上及び修学上の配慮について……………	38	奨学金・特待生制度……………	48
合否照会システムについて……………	38	学生納付金等……………	50
小論文過去問(学校推薦型選抜・総合型選抜)……………	40	資料請求について……………	51
受験生Q&A……………	42		

【2024年度入学者選抜における選抜方法の変更について(2023年7月追加)】

- 2024年度入学者選抜の選抜方法が一部変更となります。変更内容は以下の通りとなります。
- ① **学業成績による推薦(指定校)**
面接試験は行いません。面接の配点(100点)については、「志望理由書」で評価します。
※小論文試験は実施します。
 - ② **総合型選抜(A日程、B日程) 第二次選抜**
第二次選抜における面接は、次の通りとします。
 - ・第一次選抜でAまたはBの評価を受けた方は、第二次選抜での面接は実施しません。第二次選抜の面接の評価は第一次選抜の面接の評価に準拠します。
 - ・第一次選抜でC評価を受けた方は、第二次選抜での面接を実施します。
 ※第二次選抜における小論文試験は全受験者で実施します。

学部アドミッション・ポリシー

学部	アドミッション・ポリシー
文学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 文学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。または、英語熟達度テストにおいて一定程度の英語力を持ち、文学部における学修にその強みを生かそうとしている。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）
経済学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学修すべき基本的事項について知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の経済」「現代社会の諸問題」で学習すべき基本的事項については正しい知識を持つとともに、それらに関する社会事象について学ぼうとする関心・態度をもっている。（知識・技能／学修への態度）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）
経営学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経営学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 企業や社会に関して、高等学校の社会科学科目ないし商業科目の教科書が扱う水準の知識があり、それらに関してさらに学ぼうとする関心と意欲をもっている。（知識・技能／学修への態度）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）
法学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 社会に関して、高等学校の「政治・経済」で学習すべき基本的事項の知識があり、特に「政治・経済」の中の「現代の政治」で学習すべき基本的事項について正確な知識をもつとともに、それらに関する社会の事象について学ぼうとする関心及び態度をもっている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき水準の英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後もその分野で課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）

学部アドミッションポリシーと各選抜制度の対応表は、右のQRコードより確認できます。



学部	アドミッション・ポリシー
工学部	1. 東北学院大学の建学の精神と教育理念を理解し、工学部における学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度／学修への態度） （機械知能工学科） 機械を学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を有するとともに、社会の一員としての自覚を有している。 （電気電子工学科） 電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系に関する広い知識の習得に意欲があり、これらの分野の学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。 （環境建設工学科） 環境、土木、建築分野で不可欠な科目（数学、力学、計画、設計製図、実験など）を学ぶ強い意志があり、これらの分野の技術者として、社会への貢献を希望している。
	3. 高等学校における学びによって、「数学」と「理科」で学習すべき基本的知識を有している。（知識・技能／思考力・判断力・表現力）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／学修への態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／学修への態度）
地域総合学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 地域総合学部の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、地域総合学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）
情報学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 情報学部の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、情報学部での学びを強く望んでいる。現代社会における情報の重要性に関して学んだのち、データを解析するために必要となる基礎的な知識や手法を修得し、数理学、情報科学、社会科学のいずれかの分野での活用を学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）
人間科学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解したうえで、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 人間科学部の教育理念・目的や教育内容を理解したうえで、人間科学部での学びを強く望んでいる。
	3. 高等学校における学習によって、文系・理系科目それぞれの幅広い基礎的知識とそれを応用する力を有している。（知識・技能）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）
国際学部	1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」及びそのための教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解した上で、本学での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2. 国際学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、国際学部での学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3. 高等学校における学習によって、国際学部での学修に必要な基礎的知識を有している。（知識・技能）
	4. 高等学校の「コミュニケーション英語I」で達成すべき英語力がある。（知識・技能）
	5. 高等学校の「国語総合」で達成すべき水準の日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	6. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／学修への態度）
	7. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（主体的に学ぶ態度）

学科の理念・目的、求める学生像

学部	学科	理念・目的	学科の求める学生像			
文学部	英文学科	国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多文化的文化に寛容な真の国際人を育成する。	1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 3. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。 4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。			
	総合人文学科	キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。	1. 十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。 2. 十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。 3. 社会に対して強い関心を持ち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。 4. 思想・哲学、文化、芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学科での勉学に強い意欲を有している。			
	歴史学科	広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。	1. 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。 2. 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。 3. 歴史に関する基礎知識を有している。 4. 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。			
	教育学科	人がよりよく生きるための学びと人間の成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。	1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 3. 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。 4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。			
経済学部	経済学科	キリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門的知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成する。	1. 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考えられ自分の意見を明確に主張することができる。 2. 現代社会の動きに強い関心を持ち、それについて深く調べたいと考えている。 3. 社会とは何か、特に経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲を持っている。 4. 本学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしている。			
経営学部	経営学科	経営学の知識を使って、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、よきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り開いていくことのできる能力を養う。	1. 十分な基礎学力を有している。 2. 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。 3. 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。			
法学部	法律学科	法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットーを掲げる。「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」Think legally, for human dignity	1. 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。 2. 本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識をもっている。 3. 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっている。 4. 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。			
工学部	機械知能工学科	人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。	1. 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力を有している。 2. 技術者として必要な自立・自律する心を育てること、社会の一員としての責任を自覚し、積極的に学ぼうとする意欲を有している。 3. 本学科を志望する明確な理由やそれを明らかにできる活動や経験があり、それを自らの言葉で表現することができる。			
	電気電子工学科	電気電子工学の基礎的知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を養成する。	1. 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。 2. 先端科学技術に強い関心を持ち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。 3. 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。			
	環境建設工学科	キリスト教精神に基づく倫理観を備え、社会人として必要な教養を身に付けるとともに、基礎的専門知識を着実に習得した実践型の建設系技術者を養成する。	1. 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。 2. 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。 3. 社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的な生活習慣を身につける意欲を有する。			
地域総合学部	地域コミュニティ学科	多様な要素から成り立つ地域を深く理解して、地域住民の視点でよりよい地域を構想し、地域の課題を解決していくことのできる人材を育てる。	1. 十分な基礎学力を有している。 2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心をもち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。 3. 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験を持ち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。 4. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的に関わっていくこととする明確な目的と意欲を有している。			
	政策デザイン学科	地域社会を地球規模の社会経済システムとの関係で捉え、さまざまな地域の課題に多様な担い手が協働して取り組むための研究・教育を行うことで、課題の解決に資することができる人材を養成する。	1. 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。 2. 本学科で学びたいという明確な意志をもち、それを自分の言葉で表現することができる。 3. 地域が抱える具体的な社会課題に関心を持っている。 4. 行政や政治のありよう、経済や社会のしくみ、住民や事業者の協働といった観点から、地域課題の探究および解決への貢献に意欲がある。			
情報学部	データサイエンス学科	情報科学、数理科学や社会科学の幅広い学びを通して、社会が抱える種々の課題を自ら実践的に解決し、新たな価値を創造できる人材を育成する。	1. 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報科学系、数理学系、社会科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。 2. 本学科のカリキュラムを理解し、卒業まで目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。 3. 一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。 4. 他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。			
人間科学部	心理行動科学科	人間生活の抱える種々の問題に現実的に対処すべく、人間を多角的・実証的に捉える力を備え、健康的な生のあり方を追求する人材を養成する。	1. 「国語」「英語」「数学」の学力が人間科学部で学ぶに相応しい水準に達している。 2. ものごとを論理的、実証的に分析するための基礎的思考力と、その内容を自らの言葉で的確に表現しようとする態度を備えている。 3. 人間への興味と、未知の側面を探究しようとする意欲・態度を持っている。			
国際学部	国際教養学科	英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれか、並びに国際化を意識した日本語の運用能力を高めて、異なる背景を持つ人々との意思疎通手段を増やし、グローバルな問題や動向に配慮しつつ、ローカルコミュニティ(在住地域や所属組織など)に積極的に貢献できる「よき地球市民(Good Global Citizen)」を育成する。	1. 十分な基礎学力を有し、英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれかを学び続ける意欲がある。 2. 多様な言語、文化、文明、宗教、国や地域の成り立ちや関係などについて、興味を有している。 3. 学びへの意欲と興味、過去の経験や現在の状況、あるいは将来の展望と結びついている。 4. 自分の考えを、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。			

2024年度 学部・学科および募集定員

学部	学科	合計	一般選抜			東日本地域別スカラシップ選抜	大学入学共通テスト利用選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜						外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜		
			前期日程		後期日程		前期	後期	A日程	B日程	学業成績による推薦	キリスト者等推薦	資格取得による推薦		スポーツ推薦	文化活動推薦			TG推薦※2	
			A日程	B日程									指定校	公募						
文学部	英文学科	150	25	25	5	全学科の合計が36名	14	4	23	2	32	1	0	0	0	4	3	10	1	1
	総合人文学科	60	10	10	3		8	3	6	1	7	2	0	0	0	2	1	5	1	1
	歴史学科	170	32	31	9		15	4	20	2	40	2	0	0	0	4	3	6	1	1
	教育学科	70	14	13	3		5	2	10	2	6	1	0	0	0	2	2	8	1	1
経済学部	経済学科	430	105	105	10		30	11	33	2	60	3	0	0	0	27	4	34	1	5
経営学部	経営学科	341	59	58	14		25	9	42	2	50	2	15	5	5	19	4	27	3	2
法学部	法律学科	355	70	70	25		35	8	30	4	53	2	0	0	0	20	5	29	2	2
工学部	機械知能工学科	115	22	21	4		9	2	10	2	27	1	0	0	0	3	2	10	1	1
	電気電子工学科	130	25	24	5		10	2	11	2	32	1	0	0	0	3	2	11	1	1
	環境建設工学科	115	22	21	4		9	2	14	2	23	1	0	0	0	3	2	10	1	1
地域総合学部	地域コミュニティ学科	150	30	30	7		14	4	15	3	20	1	0	0	0	9	3	12	1	1
	政策デザイン学科	145	31	31	7		12	3	18	3	20	1	0	0	0	5	2	10	1	1
情報学部	データサイエンス学科	190	38	38	9		15	4	17	3	34	1	0	0	0	11	3	15	1	1
人間科学部	心理行動科学科	165	33	33	6		12	3	26	3	22	2	0	0	0	9	2	12	1	1
国際学部	国際教養学科	130	30	30	6		12	4	15	3	13	3	0	0	0	2	2	7	2	1
合計		2716	546	540	117		36※1	225	65	290	36	439	24	15	5	5	123	40	206	19

※1 東日本地域別スカラシップ選抜の定員は、一般選抜前期A日程の内数となり、全学科の合計が36名となります。

※2 「TG推薦」は、併設高校(東北学院高等学校、東北学院榴ヶ岡高等学校)からの募集定員数です。

2024年度入学者選抜の主な変更点

- 2年次編入学の募集停止について**
2年次編入学は、2024年度選抜より募集いたしません。
- 東日本地域別スカラシップ選抜の新設について**
2024年度より新しい入学者選抜制度として、返還不要の給付型奨学金が受けられる、「東日本地域別スカラシップ選抜」(50万円×4年間)を導入します。
- 工学部 機械知能工学科、電気電子工学科の大学入学共通テスト利用選抜の試験科目と配点の変更について**
工学部機械知能工学科および電気電子工学科の大学入学共通テスト利用選抜について、前期・後期とも科目目が変更となります。詳細はP18・19を参照してください。
- 一般選抜後期日程における地域総合学部の第二志望学科制導入について**
2024年度より一般選抜後期日程において、地域総合学部では地域コミュニティ学科と政策デザイン学科の間で、第二志望学科制を導入します。
- 3年次編入学における英文学科の専修内容について**
英文学科においては、2024年度より「英語コミュニケーション分野」を専修することはできません。
- 2024年度入学者選抜における選抜方法の変更について(2023年7月追加)**
2024年度入学者選抜の選抜方法が一部変更となります。変更内容は以下の通りとなります。
◆学業成績による推薦(指定校)：面接試験は行いません。
◆総合型選抜(A日程、B日程)第二次選抜：第二次選抜での面接は、次の通りとします。
・第一次選抜でAまたはBの評価を受けた方は、第二次選抜での面接は実施しません。
・第一次選抜でC評価を受けた方は、第二次選抜での面接を実施します。
詳細は1ページを参照してください。

2025年度入学者選抜の予告

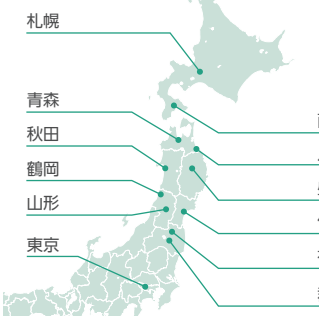
- 3年次編入学の募集について**
①2025年度選抜より3年次編入学は右表の学科のみ募集します。その他の学科は、対象学年の学科定員を充たしていない年度のみ募集します。募集の有無および募集定員は募集年度の6月末までに本学WEBサイトで公表します。
②試験実施は年1回春季とします。
③2025年度選抜より、「推薦による編入学」「社会人の編入学」および「外国人の編入学」については、募集しません。
- 一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における試験の設定科目について**
2025年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜より、「簿記・会計」は廃止し、「情報」を追加します。

●募集学部・学科・定員

学部	学科	募集定員
文学部	英文学科	3名
	総合人文学科	1名
	歴史学科	1名
経営学部	経営学科	2名

2024年度入学者選抜スケジュール

募集要項等に記載されている内容(選抜の方法・日程・会場など)に変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
オープンキャンパス(予定)▶		▶ 6月下旬	▶ 7月下旬												
一般選抜 スカラシップ選抜	前期日程 スカラ	学力試験で受験を希望する方	P08	一般選抜(前期日程)、スカラシップ選抜試験会場 本学(仙台)の他に11地区で試験を実施。皆さまの都合の良い会場で受験が出来ます。 					出願 1月 6日~ 1月16日	試験 1日~ 2日	合格 発表 10日	入学手続締切 全納・分納一次 20日	入学手続締切 分納二次 8日		
	後期日程									出願 2月13日~ 2月19日	試験 5日	合格 発表 13日	入学手続 締切 22日		
大学入学共通テスト 利用選抜	前期	大学入学共通テストの成績を利用して受験を希望する方	P17						出願 1月 6日~ 1月16日	大学入学 共通テスト 13日・14日	合格 発表 10日	入学手続締切 全納・分納一次 20日	入学手続締切 分納二次 8日		
	後期									出願 2月13日~ 2月19日		合格 発表 13日	入学手続 締切 22日		
総合型選抜 帰国生特別選抜	A日程 帰国生	本学を第一志望とし、志望学科で学ぶ目的・意欲をアピールできる方	P20		第一次出願 9月1日~ 9月7日	面接 9月23日~ 10月8日	評価 通知 17日	第二次出願 10月26日~ 11月 1日	試験 18日 19日	合格発表 1日		入学手続締切 20日			
	B日程 帰国生		P33 (帰国生)					第一次出願 11月1日~ 11月6日	面接 11月25日~ 11月26日	評価 通知 1日	第二次出願 12月5日~ 12月8日	試験 16日	合格発表 22日	入学手続締切 10日	
学校推薦型選抜	学業成績による推薦 (指定校推薦)	本学が指定した高校で、学習成績の状況(評定平均値)が3.8以上の方	P24					出願 11月1日~ 11月6日	試験 18日 19日	合格発表 1日		入学手続締切 20日			
	キリスト者等推薦 (公募推薦)	キリスト者の方、またはキリスト教の学校の生徒で条件を満たす方													
	資格取得による 推薦[経営学科のみ] (指定校推薦・公募推薦)	指定校 公募A日程		日商簿記検定や全商簿記検定で一定の資格がある方で、一定の学習成績の状況を満たす方								出願 12月5日~ 12月8日	試験 16日	合格発表 22日	入学手続締切 10日
		公募B日程													
	スポーツに優れた者の推薦 (公募推薦)	スポーツで特に優れ、入学後もその競技を続ける方		P28		予備審査申請 9月15日~ 9月22日		評価 通知 6日	出願 11月1日~ 11月6日	試験 18日 19日	合格発表 1日		入学手続締切 20日		
文化活動に優れた者の推薦 (公募推薦)	文化活動で活躍し、入学後も活動を続ける方	P30													
外国人留学生特別選抜	留学を希望する外国籍の方で、日本留学試験の成績が基準以上の方	P34							出願 12月19日~ 1月 5日	試験 2日	合格 発表 10日	入学手続締切 全納・分納一次 20日	入学手続締切 分納二次 8日		
社会人特別選抜	高校を卒業して2年以上経つ方	P35								出願 2月 9日~ 2月15日	試験 4日	合格 発表 13日	入学手続 締切 22日		
編入学選抜	A日程 (推薦、一般A 社会人)	短大・専修学校卒業の方、大学に一定期間在籍し必要単位を修得した方	P36		出願 9月 9日~ 9月14日	試験 5日	合格発表 13日	入学手続 締切 10日27日							
	B日程 (一般B、社会人 外国人)									出願 2月 9日~ 2月15日	試験 4日	合格 発表 13日	入学手続 締切 22日		

一般選抜(前期A・B日程)

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のいずれかに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、または2024年3月修了見込みの方
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、または2024年3月31日までにこれに該当する見込みの方

■出願期間・試験日・試験場・試験時間・合格発表

	出願期間	試験日	学部・学科	試験場	試験時間	合格発表
A日程	2024年 1月 6日(土)～ 1月16日(火) 15時必着	2月1日(木)	全学部 全学科	仙台(東北学院大学)	10:30～11:30 英語	2024年 2月10日(土) 10時
B日程		2月2日(金)		札幌 函館 青森 八戸 盛岡 秋田 山形 鶴岡 福島 郡山 東京	12:30～14:30 2科目	

- ・年未年始の休暇等によって、出願書類準備に必要以上の時間を要することが想定されますので、余裕をもった書類準備をお願いします。
- ・出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■試験会場

試験場	試験会場	住所
仙台	東北学院大学	仙台市若林区清水小路3-1、仙台市青葉区土樋一丁目3-1
札幌	札幌商工会議所(北海道経済センター)	札幌市中央区北一条西二丁目
函館	函館北洋ビル	函館市若松町15-7
青森	アスパム(青森県観光物産館)	青森市安方一丁目1-40
八戸	ユートリー(八戸地域地場産業振興センター)	八戸市一番町一丁目9-22
盛岡	アイーナ(いわて県民情報交流センター)	盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1
秋田	秋田県総合保健センター	秋田市千秋久保田町6-6
山形	大手門パルズ	山形市木の実町12-37
鶴岡	東京第一ホテル鶴岡	鶴岡市錦町2-10
福島	ラコパふくしま	福島市仲間町4-8
郡山	けんしん郡山文化センター	郡山市堤下町1-2
東京	TKP新宿カンファレンスセンター	新宿区西新宿1-14-11 Daiwa西新宿ビル

※試験場の地図や詳細はホームページを参照ください。

▲【注意点】

- ① 一般選抜前期日程の試験場の選択について
ご自身の住んでいる都道府県以外の試験場を選ぶことができます。受験前後の都合によって、一番受験しやすい試験場を選択していただいてもかまいません。ただし、出願後の試験場変更はできませんのでご注意ください。
- ② 仙台以外の試験場について
仙台以外の試験場では、志願者が受入定員を超えた場合、その試験場での出願登録を制限します。その場合は他の地区試験場を選択してください。

■入学検定料

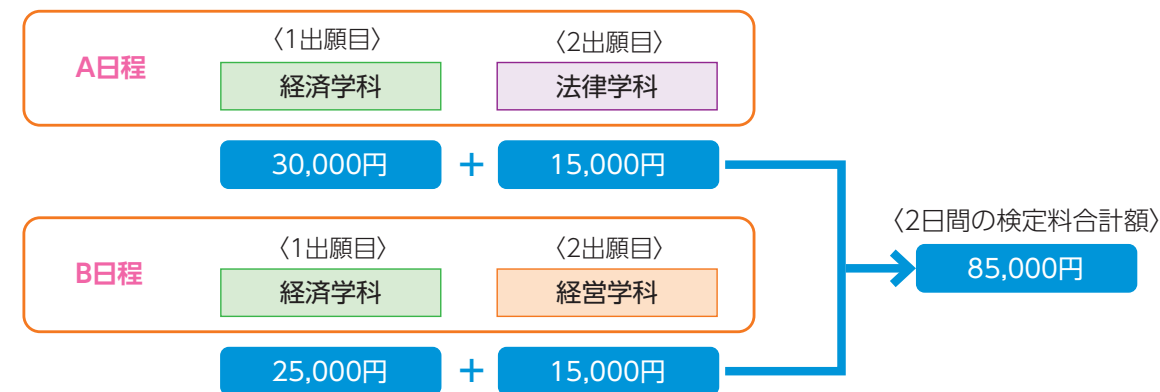
		1出願目	2出願目以降1学科につき
A日程(2月1日実施)		30,000円	15,000円*
B日程 (2月2日実施)	B日程のみ出願する場合	30,000円	15,000円*
	A日程を出願した場合	25,000円*	15,000円*

※WEB出願時に同時に出願した場合のみ割引となります。

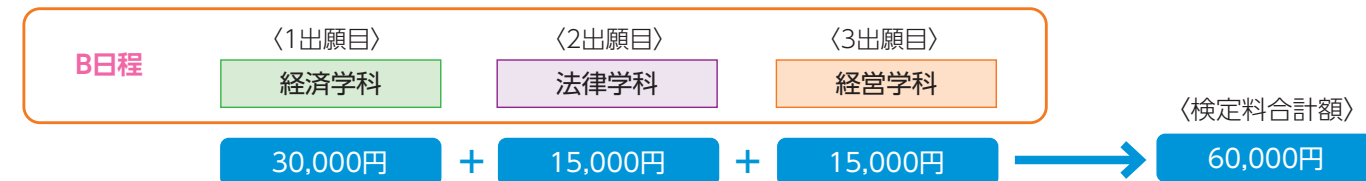
○一般選抜前期日程における「併願割引」について

一般選抜前期日程において、1日につき3学科まで併願することができ、2学科目以降の出願についての検定料は、「併願割引」されます。具体的な例は下記を参照してください。

【例1】A・B日程の2日間で3学科出願の例



【例2】B日程のみの1日で3学科出願の例



■選抜方法

3科目の合計点と出願書類により総合的に評価し選抜します。

【重要点】

- ① 一般選抜における出願書類について
出願書類は志望理由書と調査書です。志望理由書では下記について記述してもらいます。
 - ・項目1：「本学全体および志望する学部の入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」をふまえた上での志望理由
 - ・項目2：「志望する学科の理念・目的、求める学生像」をふまえた上での学修計画
 - ・項目3：これまで主体的に取り組んだ学習活動(探究学習など)のまとめ
 調査書は出願期間からさかのぼって3ヶ月以内に発行されたものを提出してもらいます。
- ② 文学部英文学科・教育学科・国際学部国際教養学科の英語評価について
文学部英文学科・教育学科・国際学部国際教養学科では、英語の得点が30点未満の場合には合格できません。
- ③ 記述式問題について
国語科目・数学科目の記述式問題によって、読解力・判断力・論理的な思考力・作文による表現力を評価します。

一般選抜(前期A・B日程)

併願制度(一般選抜前期日程)

前期日程では、1日につき最大3学科まで出願することができます。2日間受験した場合、最大6学科に出願することが可能で、2日間とも同じ学科に出願することも可能です。ただし、文・経済・経営・法・地域総合・人間科・国際の各学部と工学部の同日併願はできません。また、志望する学科によっては、併願条件を満たす必要があります。詳細は以下の併願確認表をご確認ください。



併願確認表①

第1志望学科		併願学科											
		文学部				経済学部	経営学部	法学部	地域総合学部		情報学部	人間科学部	国際学部
		英文	総合人文	歴史	教育	経済	経営	法律	地域コミュニティ	政策デザイン	サイエンス	心理行動科	国際教養
文学部	英文		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総合人文	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	歴史	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
経済学部	経済	△①	△①	△①	△①		○	○	△①	○	△①	△①	△①
	経営	△①	△①	△①	△①	○		○	△①	○	△①	△①	△①
法学部	法律	△①	△①	△①	△①	○	○		△①	○	△①	△①	△①
地域総合学部	地域コミュニティ	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	政策デザイン	△①	△①	△①	△①	○	○	○	△①		△①	△①	△①
情報学部	データサイエンス	△②	△②	△②	△②	△②	△②	△②	△②	△②	△②	△②	△②
人間科学部	心理行動科	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○
国際学部	国際教養	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○

併願確認表②

第1志望学科		併願学科			
		工学部			情報学部
		機械知能工	電気電子工	環境建設工	データサイエンス
工学部	機械知能工		○	○	○
	電気電子工	○		○	○
	環境建設工	○	○		○
情報学部	データサイエンス	△③	△③	△③	

○：併願可能
△：条件付で併願可
×：併願不可

◆基準となる学科へ出願した場合の併願条件について

- 【△①】 経済、経営、法律または政策デザイン学科を第一志望とし、文学部4学科、地域総合学部地域コミュニティ学科、情報学部データサイエンス学科、人間科学部心理行動科学科、国際学部国際教養学科を併願する場合、試験科目で「簿記・会計」は選択できません。
- 【△②】 データサイエンス学科を第一志望とし、文系学部を併願する場合、試験科目で「工学部数学」「物理」「化学」の3科目はいずれも選択できません。
- 【△③】 データサイエンス学科を第一志望とし、工学部を併願する場合、試験科目は「英語」「工学部数学」と、「物理」もしくは「化学」いずれかの1科目選択となります。

◆条件付併願の例① 第1志望学科「経済学科」+ 併願学科「英文学科」+ 併願学科「法律学科」

〈必須〉 英語 + 〈選択1〉 国語 + 〈選択2〉 世界史

各学科の受験科目の条件を満たすため、併願できます。

英語 + 国語 + ~~簿記・会計~~

英文学科を併願しているため「簿記・会計」を選択できません。

◆条件付併願の例② 第1志望学科「データサイエンス学科」+ 併願学科「心理行動科学科」+ 併願学科「経済学科」

〈必須〉 英語 + 〈選択1〉 文系数学 + 〈選択2〉 国語

各学科の受験科目の条件を満たすため、併願できます。

英語 + 文系数学 + ~~物理~~

心理行動科学科・経済学科を併願しているため「物理」(または「化学」)を選択できません。

◆条件付併願の例③ 第1志望学科「データサイエンス学科」+ 併願学科「機械知能工学科」+ 併願学科「電気電子工学科」

〈必須〉 英語 + 〈選択1〉 物理 + 〈選択2〉 工学部数学

各学科の受験科目の条件を満たすため、併願できます。

英語 + 物理 + ~~文系数学~~

機械知能工学科・電気電子工学科を併願しているため「文系数学」を選択できません。

B日程について

◆B日程では英語資格・検定試験の公式スコアも利用できます。

A日程・B日程とも「英語」は受験必須科目となっています。ただし、B日程については、本学が認めた英語資格・検定試験の公式スコアを持っている受験生は、公式スコアの証明書を提出することで、公式スコア換算表の換算点と試験日に受験した「英語」の点数を比較して、高得点の方を評価に使用します。公式スコアについては、出願する入試の実施日からさかのぼって、2年以内に受験したスコアが有効です。また、対象となる英語資格・検定試験と得点換算表は次頁の表で確認してください。

▲英語資格・検定試験の公式スコアを持っていない場合でも、B日程への出願は可能です。

〔参考〕2023年度選抜公式スコア換算表

対象試験制度	本学換算点			
	CEFRのA2レベル	CEFRのB1レベル	CEFRのB2レベル	CEFRのC1レベル以上
	50~64点	65~84点	85~99点	100点
ケンブリッジ英語検定	125~139	140~159	160~179	180以上
英検	1791~1979	1980~2303	2304~2629	2630以上
GTEC	758~959	960~1189	1190~1349	1350以上
TOEIC L&R/TOEIC S&W	755~1145	1150~1555	1560~1840	1845以上
TOEFL iBT	-	42~71	72~94	95以上
IELTS	-	4.00~5.49	5.50~6.99	7.00以上
TEAP	150~224	225~308	309~374	375以上
TEAP CBT	280~415	420~595	600~795	800以上

- 利用できるのは4技能を対象とした形式の公式スコアに限ります。
- 出願する入試の実施日からさかのぼって2年以内に受験したスコアを有効とします。
- 英検については、従来型、英検S-Interview(英検 2days s-Interview)、英検S-CBTを有効とします。
- 「GTEC」の対象は検定版とCBTタイプのみです。
- TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。
- TOEFL iBTについては、Test Dateスコアのみを有効とします。MyBestスコアを利用することはできません。

一般選抜(前期A・B日程)

■試験科目・配点 (試験科目は3科目)

学部・学科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点		
文学部 英文学科 総合人文学科 歴史学科 教育学科 地域総合学部 地域コミュニティ学科 人間科学部 心理行動科学科 国際学部 国際教養学科	英語	コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	必須	100点	合計 300点
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)			
	政治・経済	政治・経済			
	日本史	日本史B	1科目のみ 選択できる	左の6科目中 2科目選択 各100点	
	世界史	世界史B			
	地理	地理B			
文系数学	数学I(1題必答)および数学I、数学II、数学A、数学Bから2題選択				
経済学部 経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科 地域総合学部 政策デザイン学科	英語	コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	必須	100点	合計 300点
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)			
	政治・経済	政治・経済			
	日本史	日本史B	1科目のみ 選択できる	左の7科目中 2科目選択 各100点	
	世界史	世界史B			
	地理	地理B			
	文系数学	数学I(1題必答)および数学I、数学II、数学A、数学Bから2題選択	1科目のみ 選択できる		
簿記・会計	簿記・財務会計I				
工学部 機械知能工学科 電気電子工学科 環境建設工学科	英語	コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	必須	各100点	合計 300点
	工学部数学	数学I・数学A・数学II・数学Bの範囲から2題(必須) 数学II・数学B、数学IIIの2題から1題選択			
	物理	物理基礎・物理	1科目のみ 選択できる	100点	
	化学	化学基礎・化学			
情報学部 データサイエンス 学科	英語	コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	必須	100点	合計 300点
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)			
	政治・経済	政治・経済			
	日本史	日本史B	1科目のみ 選択できる	左の9科目中 2科目選択 (各100点)	
	世界史	世界史B			
	地理	地理B			
	文系数学	数学I(1題必答)および数学I、数学II、数学A、数学Bから2題選択	1科目のみ 選択できる		
	工学部数学	数学I・数学A・数学II・数学Bの範囲から2題(必須) 数学II・数学B、数学IIIの2題から1題選択			
	物理	物理基礎・物理	1科目のみ 選択できる		
化学	化学基礎・化学				

■入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

手続方法には、「全納」と「分納」の2つの方法があり、どちらかを選ぶことができます。

手続方法	締切日	2月20日(火) 15時必着	3月8日(金) 15時必着
全納		・入学時納付金の全額納入 ・指定書類の提出	
分納		〈第一次手続〉 ・入学金の納入 ・指定書類の提出	〈第二次手続〉 ・入学金を除く納付金の納入 ・指定書類の提出

▲【注意点】

- 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学することはできません。
- 納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。
- 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2024年3月29日(金)正午までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。[2024年2月中旬公開予定]

東日本地域別スカラシップ選抜

■スカラシップ(給付型奨学金)選抜制度について

返還不要の給付型奨学金(年間50万円)を最大4年間受給することができます。

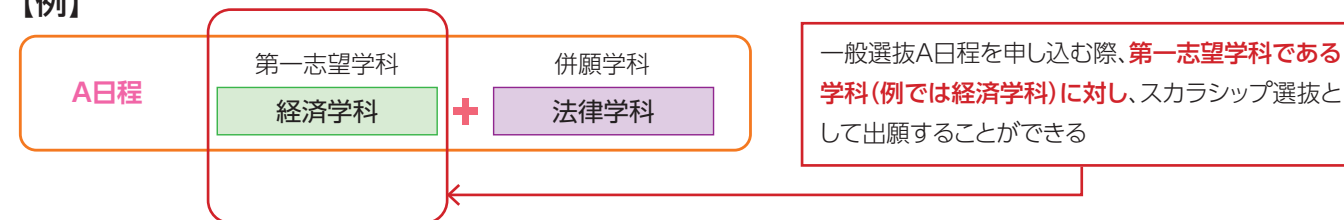
ただし、進級後(2年目以降)も受給するためには、継続条件を満たしている必要があります。

■試験概要

一般選抜前期A日程へエントリーする際に、選択することができる選抜制度です。一般選抜前期A日程の第一志望の学科に対して、併せて出願できる仕組みとなっています。

ただし、合格した場合には入学を確約できる必要があります。

【例】



■募集定員

スカラシップ選抜は下表の学科定員、地区定員の合わせて最大36名で、「一般選抜前期A日程」の募集定員に含まれます。

①学科定員枠：15名

学部	学科	定員
文学部	英文学科	1
	総合人文学科	1
	歴史学科	1
	教育学科	1
経済学部	経済学科	1
経営学部	経営学科	1
法学部	法律学科	1

②地区定員枠：21名

学部	学科	定員
工学部	機械知能工学科	1
	電気電子工学科	1
	環境建設工学科	1
地域総合学部	地域コミュニティ学科	1
	政策デザイン学科	1
情報学部	データサイエンス学科	1
人間科学部	心理行動科学科	1
国際学部	国際教養学科	1

地区	定員
青森地区	3
岩手地区	3
秋田地区	3
宮城地区	3
山形地区	3
福島地区	3
北海道・新潟・北関東地区	3

栃木、茨城、群馬出身の出願者は北海道・新潟・北関東地区に区分されます。

■出願資格

一般前期A日程の出願条件および下記条件の①に加え、②～④の条件いずれかを満たす方です。

- 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合には入学を確約できる方
- 2024年3月卒業見込みの方で、在籍している高等学校もしくは中等教育学校の所在地が対象となる11道県(北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、新潟、栃木、茨城、群馬)にあること。
- 2024年3月卒業見込みの方で、在籍している高等学校もしくは中等教育学校の所在地が対象の11道県に該当しないときは、出願者本人の住民票の住所が対象11道県にあること。
- 2023年度3月以前に高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方(2024年3月31日までにこれに該当する見込みの方も含む)は、出願者本人の住民票の住所が対象11道県にあること。

なお上記②の場合、出願書類調査書に記載されている高等学校もしくは中等教育学校の所在地で、上記③④の場合、出願時に出願書類に加えて住民票の写しを提出することで、確認します。

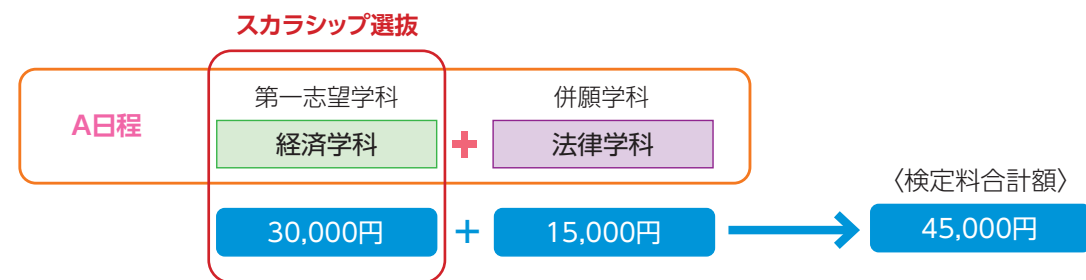
東日本地域別スカラシップ選抜

■入学検定料

30,000円

スカラシップ選抜は、一般選抜前期A日程への出願する際にエントリーする選抜制度で、一般選抜前期A日程同様に他学科への併願をすることもできます。また併願した場合の2学科目以降の出願は割引となります。詳細は9ページを参照してください。なお、併願する学科については、合格した場合の入学確約条件は適用されません。

【例】スカラシップ選抜に加え、一般選抜前期A日程の他学科を併願した場合



■出願期間・試験日・試験場・試験時間・合格発表

すべて「一般選抜前期A日程」に準じます。
詳細は8ページを参照してください。

■選抜方法

一般選抜前期A日程を利用し、3科目の合計点と出願書類により、総合的に評価し選抜します。
ただし、試験の成績が一般選抜前期A日程全受験者の中で上位25%以内に位置していることがスカラシップ選抜の合格条件となります。

■試験科目・配点

すべて「一般選抜前期A日程」に準じます。
詳細は12ページを参照してください。

■入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。
なお、期日までに手続が完了しなかった場合、本スカラシップの受給資格を失います。

手続方法	日	時
全納	2月20日(火)	15時必着

一般選抜(後期日程)

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

前期日程と同じです。8ページを参照してください。

■出願期間・試験日・試験場・試験時間・合格発表

出願期間	試験日	学部・学科	試験場	試験時間	合格発表
2024年 2月13日(火) ~2月19日(月) 15時必着	3月5日(火)	全学部 全学科	仙台(東北学院大学)	10:30~12:30 2科目	2024年 3月13日(水) 10時

- ・出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

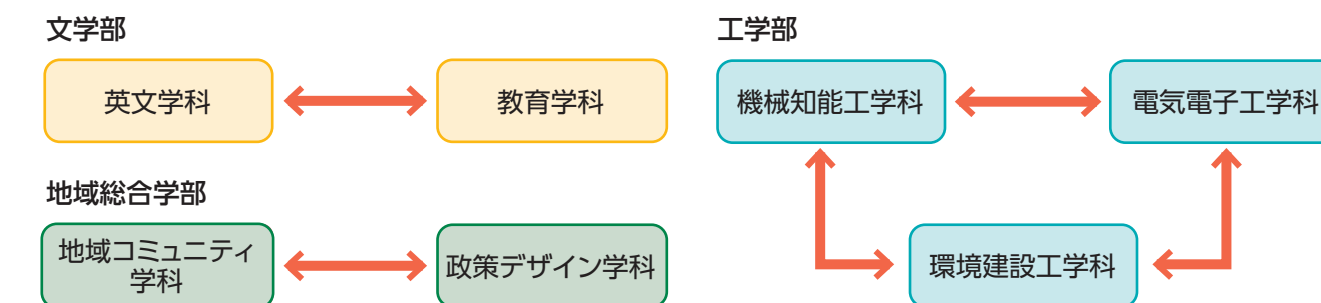
■選抜方法

2科目の合計点と出願書類により総合的に評価し選抜します。

【重要点】

①併願・第二志望学科制について

後期日程は1学科のみ出願することができ、併願することはできません。
ただし、文学部の英文学科と教育学科、工学部の各学科、地域総合学部の各学科を志願する場合は、下の学科間に限り第二志望学科を選択することができます。



○第二志望学科制とは:たとえば、機械知能工学科を受験する際、第二志望学科として電気電子工学科を選択した場合、第一志望で出願した機械知能工学科に不合格の判定でも、第二志望の電気電子工学科に合格となる場合があります。
なお、第二志望学科分の入学検定料は無料です。

②出願書類について

出願書類は志望理由書と調査書です。志望理由書と調査書の詳細は一般選抜(前期A・B日程)の9ページを参照してください。

③英文学科・教育学科の英語評価について

文学部英文学科・教育学科では、英語の得点が30点未満の場合には合格できません。

④記述式問題・小論文問題について

国語科目・数学科目の記述式問題や小論文問題によって、読解力・判断力・論理的な思考力・作文による表現力を評価します。

一般選抜(後期日程)

■試験科目・配点(試験科目は2科目)

学部・学科	試験科目	高校での該当科目	必須・選択の別と配点	
文学部 英文学科 総合人文学科 歴史学科 教育学科 経済学部 経済学科 経営学部 経営学科 法学部 法律学科 地域総合学部 地域コミュニティ学科 政策デザイン学科 情報学部 データサイエンス学科 人間科学部 心理行動科学科 国際学部 国際教養学科	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	(英文学科・総合人文学科・教育学科) 「英語」が必須、左の残り10科目から「簿記・会計」、「物理」と「化学」を除く7科目中1科目選択 (歴史学科) 左の11科目から「簿記・会計」、「物理」と「化学」を除く8科目中2科目選択。ただし、1科目は日本史、世界史、地理から選択必須(2科目選択可) (経済学部・経営学部・法学部・地域総合学部・人間科学部・国際学部) 左の11科目から「物理」と「化学」を除く9科目中2科目選択 (情報学部) 左の11科目中2科目選択。 ただし「物理」と「化学」はどちらか1科目のみ選択可。 配点は各100点	合計 200 点
	小論文			
	国語	国語総合(古文、漢文は除く)		
	政治・経済	政治・経済		
	日本史	日本史B		
	世界史	世界史B		
	地理	地理B		
	文系数学	数学Ⅰ(1題必答)および数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bから2題選択		
	簿記・会計	簿記・財務会計Ⅰ		
	物理	物理基礎・物理		
化学	化学基礎・化学			
工学部 機械知能工学科 電気電子工学科 環境建設工学科	工学部数学	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲から2題(必須)、数学Ⅱ・数学Bと数学Ⅲより2題から1題選択	必須(200点)	合計 300 点
	英語	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	1科目選択(100点)	
	物理	物理基礎・物理		
	化学	化学基礎・化学		

■入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

手続方法	日 時
全 納	3月22日(金) 15時必着

▲【注意点】

- 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学することはできません。
- 納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。
- 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2024年3月29日(金)正午までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。[2024年2月中旬公開予定]

【予告】2025年度一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜における科目の変更について

新学習指導要領(新課程)に対応するため、2025年度入学者選抜より一般選抜・大学入学共通テスト利用選抜の科目設定を一部変更します。主な変更点は以下となります

【2025年度一般選抜より科目「情報」を新設】

2022年度より高等学校での「情報I」の必修化に伴い、2025年度一般選抜の選択科目として『情報』(高等学校での該当科目「情報I」)を新設します。

【2025年度一般選抜より科目「簿記・会計」を廃止】

現在一般選抜選択科目として設定されている「簿記・会計」は2024年度までとし、2025年度より「簿記・会計」は廃止します。

【2025年度大学入学共通テストで新設される科目「地理総合、歴史総合、公共」「情報I」を、2025年度大学入学共通テスト利用選抜科目として導入】

2025年度より大学入学共通テストでは「地理総合、歴史総合、公共」、「情報I」が新設されます。2025年度より大学入学共通テスト利用選抜においてもこれら新設科目を選択科目として導入します。

なお、各選抜における科目の詳細は、本学ホームページより確認できます。

大学入学共通テスト利用選抜

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

(1) 次のいずれかに該当し、かつ(2)に該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、または2024年3月修了見込みの方
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、または2024年3月31日までにこれに該当する見込みの方

(2) 令和6年度大学入学共通テストを受験した方(前年度の「大学入学共通テスト」の成績は利用できません)

■選抜方法

本学各学科の指定した教科・科目の大学入学共通テスト試験の結果および出願書類により総合的に評価し選抜します。

本学独自の個別学力検査は行いません。

※出願書類とは調査書と志望理由書です。

■出願期間・試験日・合格発表

	出願期間	試験日	学部・学科	合格発表
前期	2024年1月 6日(土)～1月16日(火)15時必着	〈大学入学共通テスト試験日〉 1月13日(土)・14日(日)	全学部 全学科	2024年 2月10日(土)10時
後期	2024年2月13日(火)～2月19日(月)15時必着			2024年 3月13日(水)10時

- ・出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

12,000円

■入学手続

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。詳細は「入学手続要項」をご確認ください。

【前期】

手続方法には、「全納」と「分納」の2つの方法があり、どちらかを選ぶことができます。

手続方法	締切日	2月20日(火)15時必着	3月8日(金)15時必着
全 納		・入学時納付金の全額納入 ・指定書類の提出	
分 納		〈第一次手続〉・入学金の納入 ・指定書類の提出	〈第二次手続〉・入学金を除く納付金の納入 ・指定書類の提出

【後期】

手続方法	日 時
全 納	3月22日(金) 15時必着

▲【注意点】

- ① 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学することはできません。
- ② 納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。
- ③ 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2024年3月29日(金)正午までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。[2024年2月中旬公開予定]

大学入学共通テスト利用選抜

■試験科目・配点【前期】

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
英文学科	国 語	「国語」	4教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	200点 (各100点)	合計 500点
	地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		300点		
総合人文学科	国 語	「国語」	4教科から2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 700点
	地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目				
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」から1科目				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目				
外 国 語	「英語」	必須		300点		
歴史学科	国 語	「国語」	4教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 700点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」から1科目				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		300点		
教育学科	国 語	「国語」	4教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史B」「日本史B」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I・数学A」「数学II・数学B」				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		200点		
経済学科	国 語	「国語」	3教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	200点 (各100点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		200点		
経営学科	国 語	「国語」	4教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		200点		
法律学科	国 語	「国語」	3教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	200点 (各100点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」「(ドイツ語)」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	1科目選択		200点		
機械知能工学科	数 学	「数学I・数学A」 「数学II・数学B」「情報関係基礎」「簿記会計」	必須 1科目選択		200点 100点	合計 600点
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎(必ず物理基礎と化学基礎を選択)」「物理」「化学」	1科目選択	○2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	100点	
	外 国 語	「英語」「(ドイツ語)」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択		200点	
電気電子工学科	数 学	「数学I・数学A」 「数学II・数学B」「情報関係基礎」「簿記会計」	必須 2教科7科目から1科目選択		200点	合計 600点
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎(必ず物理基礎と化学基礎を選択)」「物理」「化学」	1科目選択	○2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	200点	
	外 国 語	「英語」「(ドイツ語)」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択		200点	
環境建設工学科	国 語	「国語」(近代以降の文章)	必須		100点	合計 500点
	数 学	「数学I・数学A」 「数学II・数学B」「情報関係基礎」から1科目	必須 1科目選択		100点 100点	
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎(ただし物理基礎、化学基礎、生物基礎から2科目選択)、または「物理」「化学」「生物」から1科目	1科目選択	○2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	100点	
	外 国 語	「英語」	必須		100点	

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
地域コミュニティ学科	国 語	「国語」	4教科から2教科2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」から2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目				
外 国 語	「英語」「(ドイツ語)」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	1科目選択		200点		
政策デザイン学科	国 語	「国語」	3教科から2科目選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「理科」については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	200点 (各100点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		200点		
データサイエンス学科	国 語	「国語」(近代以降の文章)	4教科から2教科2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」から2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目				
外 国 語	「英語」「(ドイツ語)」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	1科目選択		200点		
心理行動科学科	国 語	「国語」	4教科から2教科2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」から2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目				
外 国 語	「英語」	必須		200点		
国際教養学科	国 語	「国語」	4教科から2教科2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」は4つのうち2つを選択解答とする。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」から1科目				
	数 学	「数学I」「数学I・数学A」「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目				
	理 科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」から2科目または「物理」「化学」「生物」「地学」から1科目				
外 国 語	「英語」「(ドイツ語)」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	1科目選択		200点		

⚠【注意点】

- 総合人文学科・歴史学科・教育学科・経営学科・機械知能工学科・電気電子工学科・地域コミュニティ学科・データサイエンス学科・心理行動科学科・国際教養学科の選択科目のうち大学入学共通テスト100点満点の科目は200点満点に換算する。
- 英文学科の「国語」は100点満点に換算する(大学入学共通テスト200点満点)
- 「英語」を受験の場合リーディングとリスニングの配点は以下の通り。
英文学科・総合人文学科・歴史学科の「英語」のリーディングは200点に換算する。
環境建設工学科の「英語」はリーディング100点を75点に、リスニング100点を25点に換算する。
機械知能工学科・電気電子工学科・地域コミュニティ学科・データサイエンス学科・心理行動科学科の「英語」はリーディング100点を150点に、リスニング100点を50点に換算する。
教育学科・経済学科・経営学科・法律学科・政策デザイン学科・国際教養学科「英語」はリーディング100点、リスニング100点となる。

【後期】

下表に記載していない14学科の試験教科・科目、備考、配点は前期と同じ

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
環境建設工学科	数 学	「数学I・数学A」 「数学II・数学B」「情報関係基礎」から1科目	必須 1科目選択		100点 100点	合計 300点
	理 科	「物理」「化学」「生物」から1科目	2教科から1科目選択	○2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	100点	
	外 国 語	「英語」				

⚠【注意点】

環境建設工学科の「英語」はリーディング100点を75点に、リスニング100点を25点に換算する。

総合型選抜

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験できる資格を取得した方、または2024年3月までに取得見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 出願する本学の学部学科に入学した場合、その学科で学ぶ学生として、積極的で有意義な学生生活を送ることができる学力、意欲、適性をもっており、それをアピールできる方

■出願期間・試験日・合格発表

	第一次選抜			第二次選抜		
	出願期間	面接期間(予定)	評価通知日(予定)	出願期間	試験日	合格発表
A日程	9月 1日(金)～ 9月 7日(木) 15時必着	9月23日(土) ～ 10月 8日(日)	10月17日(火)	10月26日(木) ～ 11月 1日(水) 15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	12月 1日(金)10時
B日程	11月 1日(水)～ 11月 6日(月) 15時必着	11月25日(土) 11月26日(日)	12月 1日(金)	12月 5日(火) ～ 12月 8日(金) 15時必着	12月16日(土)	12月22日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 第一次選抜の面接日は、上記面接期間の土曜日または日曜日に実施をします。
- ・ A日程第二次選抜の試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は可否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで可否を確認することができます。

■試験場

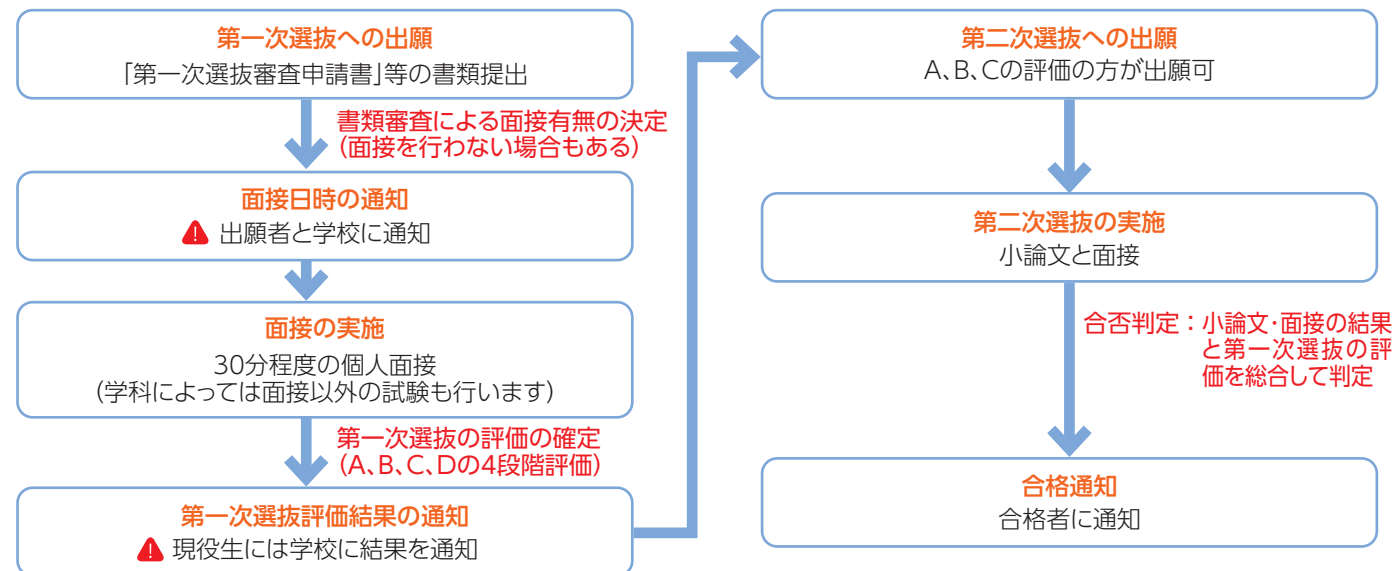
	全学部全学科
第一次選抜(A・B日程共通)	五橋キャンパス
第二次選抜(A・B日程共通)	土樋・五橋キャンパス

⚠ 9月22日訂正
総合型選抜第一次選抜の「面接日時の通知」と「第一次選抜評価結果の通知」はWeb出願サイトにて受験生へ直接通知する形式に変更となっております。

■入学検定料

第一次選抜 10,000円 第二次選抜 23,000円

■選抜方法



第一次選抜

出願時に「第一次選抜審査申請書」を提出し、提出書類の内容を中心に書類審査と面接を行います。書類審査と面接(学科によって面接以外の審査もあります)によって、4段階(A、B、C、D)評価をします。評価結果は、評価通知日に出願者の在学高校へ(既卒の方には自宅へ直接)発送します。ただし、書類審査の結果により面接を行わない場合もあります。

◆第一次選抜の評価

第一次選抜の4段階評価(A・B・C・D)の内容は次の通りです。なお、第二次選抜はA～C評価の方のみが出願できます。

評価結果	評価内容
A	特段の事情がないかぎり合格とする
B	合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは不合格もありうる
C	不合格の可能性が高いが、第二次選抜の結果しだいでは合格もありうる
D	不合格とする

◆特定の学科における審査について

以下の学科では書類審査・面接以外の審査等があります。確認してください。

学科名	説明内容
英文学科	英文学科では一定の英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映します。詳細は総合型選抜募集要項(第一次選抜)で確認してください。
経済学科	経済学科では1組4人程度でグループ・ディスカッションを行います。所要時間は40分程度です。試験開始時にディスカッション用の資料が配られ、10分で出題されたテーマについて自分の考えをまとめます。その後30分で、出題されたテーマについて討論を行います。
法律学科	法律学科では「法または政治」に関して下記に提示されたテーマから1つを選び、調べた内容、自分の考えなどを5分程度でプレゼンテーションしてもらいます。それらについて論理的に道筋を立てて表現することができているかなどを総合的に評価します。今年度のプレゼンテーションのテーマは「ロシアによるウクライナ侵略のどこが問題か?」「SNS上の表現の自由は規制することができるか?」の2つです。なお自分で作成した紙面での資料を用意して構いません。その際にはご自身のもの以外に2部ご用意ください。電子機器を使用した発表はできません。
地域コミュニティ学科	地域コミュニティ学科では、「よりよい地域づくり」のための課題を各自で設定し、その内容について5分程度のプレゼンテーションしてもらいます。取り上げる内容への着眼点、調査方法、探求・解決方法、独創性、表現力などが総合的に判断されます。なお自分で作成した紙面での資料を用意しても構いません。電子機器を使用した発表はできません。
政策デザイン学科	政策デザイン学科では「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに、自分で調べた内容を5分程度でプレゼンテーションしてもらいます。発表の方法は①スケッチブックやコピー用紙など、手で持てるサイズの紙面に発表内容をまとめ、提示しながら口頭で説明する方法(ご自身のもの以外に、2部同じ資料を用意ください)。②大きな模造紙に発表内容をまとめ、黒板に貼り、提示しながら口頭で説明する方法の2通りです。(電子機器を利用した発表はできません)

【ポイント】法律学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションについて

〈法律学科〉

法律学科ではプレゼンテーションの準備や発表のヒントを「総合型選抜の手引き」として法学部のウェブページに掲載しています。資料作成や発表準備の参考にしてください。
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/sougou.html>

〈政策デザイン学科〉

プレゼンテーションのテーマについては、何が問題になっており、どんな解決策が提案されているのかなどを調べてください。調べた内容については、具体的な記述を心掛け、参照した本や資料がある場合は出典を明記してください。また地域社会の課題というのは、少子高齢化、地域福祉、地方財政、経済格差、地域振興、労働問題、災害と復興、市民活動、ジェンダー、多文化共生、差別問題などです(これ以外でも構いません)。なお、プレゼンテーション内容が第一次選抜審査申請書の「探究学習」と内容が同じでも構いません。評価の観点は「論理性」「客観性」「発表の準備が適切にできているか」です。

総合型選抜

◆第一次選抜審査申請書について (参考)

第一次選抜出願時には第一次選抜審査申請書を提出していただきます。

第一次選抜審査申請書の記述項目は下表の内容となっております。

設問項目	
I	本学全体および志望する学部の入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)をふまえながら、あなたが本学への入学を希望する理由について記述してください。
II	あなたが出願した本学の学科に入学したとき、その学科で学生として、どのような学修を行いたいと考えていますか。学科の理念・目的・求める学生像に対する理解や考え方をふまえながら、学修計画について記述してください。
III	あなたがこれまでに習った(習っている)科目のなかで、成績の良い悪いとは関係なしに、最も興味をもった科目を2つ挙げてください。また、それらには、特にどんな点(あるいは内容・領域)に興味をもちましたか。
IV	ここ数年の間に起こった出来事・現象のなかで、あなたが最も興味を感じたものを挙げてください。また、それは、特にどんな点で興味をもちましたか。
V	現在のあなたの生活において、あなたが最も充実した時間を過ごしていると感じるのは、どんなときですか。
VI	あなたは出願した本学の学科に入学したとき、学修以外にどんな大学生活を送りたいと考えていますか。
VII	あなたは、現在のところ、大学卒業後の進路について、どんなことを考えていますか。
VIII	あなたがもっている能力、資質、適性、経験、資格などを紹介しながら、特にアピールしたいことを記述してください。
IX	高校生活の中で取り組んだ探究学習を一つ選び、その概要をまとめてください。高校の授業外で行った活動の記録や成果でもかまいません。グループによる学習活動の場合は、あなたが担当した役割等がわかるように記述してください。

なお、「第一次選抜審査申請書」は右のQRコードより内容を確認することができます。

また、「第一次選抜審査申請書」の書き方も同じページより確認できます。



第二次選抜

第一次選抜でA、B、Cの評価を受けた方が出願できます。小論文と面接の試験を行い、その結果と第一次選抜における評価を総合して最終的に合否を判定します。

試験科目	第一次選抜	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

小論文作成のポイントが40.41ページにあります。

(試験内容)

① 小論文

【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部】与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。

(60分/800字程度)

【工学部】与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分/600字程度)

② 面接

二人の面接試験担当者による個人面接を行います。(5~10分程度)

⚠ 【2024年度入学者選抜における選抜方法の変更について(2023年7月追加)】

第一次選抜でAまたはBの評価を受けた方は、第二次選抜での面接を実施しません。

第二次選抜の面接の評価は、第一次選抜の面接の評価に準拠します。

なお、第一次選抜でC評価を受けた方は、第二次選抜での面接を実施します。

■入学手続

日程	手続方法	日時
A日程	全納のみ	2023年12月20日(水)15時必着
B日程	全納のみ	2024年 1月10日(水)15時必着

全納とは:指定期日までに一括で入学金および前期授業料等を振り込むことに加え、必要書類一式を提出することです。

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください。(50ページ)。

■総合型選抜における重要評価点(学科別)

学部・学科	重要評価点	
文 学 部	英 文 学 科	1. 十分な学力の裏付けがあること。 2. 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践していること(第一次選抜の面接において、短い英文を音読してもらい、その内容について質問に答えてもらう場合がある)。英語資格・検定試験の成績を第一次選抜の得点に反映させるので、成績証明書(コピー不可)を第一次選抜の面接時に持参すること。 3. 知的好奇心が旺盛であること(第一次選抜の面接において、読書経験について答えてもらう場合がある)。 4. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明できること。 5. 英文学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学プランをもってのこと。
	総 合 人 文 学 科	1. 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心をもち、本学部での勉学に強い意欲を有していること。 2. 英語をはじめとした基礎学力を有していること。 3. 読解力を有し、自分の考えを論理的に表現する力をもってのこと(第一次選抜の面接で読書経験を尋ねられることがある)。 4. 社会に対して強い関心をもち、積極的にかかわろうとする姿勢を有していること。
	歴 史 学 科	1. 歴史に関する基礎知識を有していること。 2. 歴史学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしていること。 3. 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性があること(第一次選抜の面接において、読書経験を尋ねられることがある)。 4. 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考・十分な基礎学力を有していること。
	教 育 学 科	1. 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛であること。 2. 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができること。 3. 人の学びと教育に関して、強い関心をもち、興味をもち、積極的に学ぶこと。 4. 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもってのこと。
	経 済 学 科	1. 国語・数学・英語の基礎学力が十分にあること。 2. 経済学科の理念、教育目標・到達目標について理解していること。 3. 経済学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしていること。 4. 社会・経済の動きに強い関心を持ち、その背後にある理由や解決策を探究したいという強い意欲を持っていること。 5. 論理的に考え、自分の意見を明確に主張できること。
経 営 学 科	経 営 学 科	1. 国語・数学・英語の十分な学力があること(面接では左記科目の学力を確かめることを目的とした質問をする場合がある)。 2. 本学部を志望する経緯について明確に説明できること。 3. 本学部で何を学び、それを将来どのように活かすかについての明確なビジョンをもち、それを実現するための学修プランをもってのこと。 4. 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問をもったことについて、深く掘り下げて調べ、明らかにした結果を自分の言葉で説明できること(第一次選抜の面接において、説明してもらう場合がある)。
	法 律 学 科	1. 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部の水準に達していること。 2. 文章を正しく理解するために必要な読書の習慣があること。 3. ニュースに定期的に接する(具体的には、新聞を読む、その他のメディアで視聴する)ことにより、法や政治への関心や知識をもっていること。 4. 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分にもっていること。 5. 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できること(第一次選抜の際に、「法または政治」に関する事柄をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。
工 学 部	機 械 知 能 工 学 科	1. 機械工学を学ぶために必要な数学、物理、英語の基礎学力をもち、自分自身で問題を発見し、解決するための方法を考え、解決しようとする姿勢をもっていること。 2. 総合型選抜により入学しようとするはっきりとした理由とそれを明らかにできる活動や経験があり、それを面接委員に十分に伝えられること。 3. 技術者として必要な自立・自律する心を育てること、社会の一員としての責任を自覚して、積極的に学ぼうとする意欲をもっていること。 4. 学科のカリキュラムについての調査および把握をしたうえで、大学での勉学に対する意欲をもっていること。
	電 気 電 子 工 学 科	1. 電気電子工学の教育内容を十分に理解したうえで、総合型選抜を選択した理由、勉学動機と目標を明確に説明できること。 2. 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力をもち、自ら学習しようとする積極性を有すること。 3. 先端科学技術に強い関心をもち、強い学習意欲と高い目標をもっていること。
	環 境 建 設 工 学 科	1. 環境、土木、建築での学習に必要な基礎学力を有していること。 2. 環境、土木、建築で不可欠な科目(数学、力学、計画、設計製図、実験など)を学ぶ強い意欲があること。 3. 環境、土木、建築の技術者として、社会への貢献を希望していること。
地 域 総 合 学 部	地 域 コ ミ ュ ニ ティ 学 科	1. 本学部で学ぶための十分な学力を有し、学科の教育内容を理解し、志望理由を明確に表現できること。 2. 「よりよい地域づくり」に強い関心をもち、それを深く探究・解決しようとする意欲があること(第一次選抜の際、「よりよい地域づくり」について5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。 3. 校内外の活動に積極的に取り組んできた経験をもち、その内容を自らの言葉で表現し説明できること。 4. 将来も地域に積極的にかかわっていこうとする明確な目的と意欲をもっていること。
	政 策 デ ザ イ ン 学 科	1. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、本学科で学ぶのに十分な基礎学力を有していること。 2. 本学科で学びたいという明確な意志をもち、審査申請書について自分の言葉で適切に記述し説明できること。 3. 地域が抱える具体的な社会課題に関心をもち、関連する事柄を深く調べたうえで自分の言葉で筋の通った説明ができること(第一次選抜の際に「私が取り組んでみたい地域社会の課題」をテーマに5分程度のプレゼンテーションをしてもらう)。 4. 地域課題の解決に貢献しようとする意欲をもっていること。
情 報 学 部	デ ー タ サ イ エ ン ス 学 科	1. 大学で学ぶための基礎学力と理解力をもち、情報科学系、数理科学系、社会科学系のいずれかの科目に強い関心をもっていること。 2. 本学科のカリキュラムを理解し、目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲があること。 3. 一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野にも広く関心があること。 4. 人々と積極的にコミュニケーションを図ってきた経験をもち、そのことを具体的に説明できる表現力をもっていること。
人 間 科 学 部	心 理 行 動 科 学 科	1. 人間の心や身体、社会の問題に関して深い理解が得られるような本を積極的に読み、その内容を的確に理解する基礎的な学力を有すること。 2. 人間の心や身体、社会の問題を実証的に分析する基礎となる数学的思考力を備えていること。 3. 自分の興味関心と将来の目標について筋道を立てて自分なりの言葉で説明できること。 4. 人間に対する探究心をもつとともに、本学科の提供する教育内容について自ら調べて、志望理由を明確に表明できること。
国 際 学 部	国 際 教 養 学 科	1. 外国語学習への意欲をもち、何かしらの実践をしていること。 2. どんなことをなぜ学びたいのかが明確であること。 3. 自分と異なる背景を持つ人と接した経験があること。 4. 書物や新聞などを読み、知識や教養を深めようとしていること。 5. 「国際」とはどのようなことを意味するか、自分の経験や知識に基づいて具体的に説明できること。

⚠ 法律学科・地域コミュニティ学科・政策デザイン学科のプレゼンテーションの内容は21ページを参照してください。また、42ページ総合型選抜Q&Aも参照ください

学校推薦型選抜 学業成績による推薦(指定校推薦)

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の方
- ④ 本学が指定した学校長からの推薦による方

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
11月1日(水)~11月6日(月)15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	土樋・五橋キャンパス	12月1日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に評価し選抜します。

⚠【2024年度入学選抜における選抜方法の変更について(2023年7月追加)】
学業成績による推薦は面接試験を行いません。
面接の配点(100点)については、「志望理由書」で評価します。

【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部志望の場合】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	100	200	100	400

- (1) 小論文 与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分/要約100字程度、論述700字程度)
- (2) 面接 面接試験担当者による個人面接を行います。(5~10分程度)

【工学部】

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

小論文作成のポイントが
40,41ページにあります。

- (1) 小論文 与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分/600字程度)
- (2) 面接 面接試験担当者による個人面接を行います。(5~10分程度)

◆志望理由書について

出願時には「志望理由書」を提出していただきます。志望理由書の詳細については、27ページの「志望理由書について」を参照してください。

■入学手続

手続方法	日時
全納のみ	2023年12月20日(水)15時必着

全納とは:指定期日までに一括で入学金および前期授業料等を振り込むことに加え、必要書類一式を提出することです。
入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。

学校推薦型選抜 キリスト者等推薦(公募推薦)

■募集定員

学部・学科および募集定員(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。なお、出願資格③の条件については、事前にアドミッションズ・オフィスへ確認してください。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方、ならびに大学を受験する資格を取得した方、または2024年3月までに取得見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の方
- ④ 上記の条件を満たし、かつ下表のAまたはBいずれかの条件を満たす方

	条 件
A	キリスト者であり、入学後東北学院大学のキリスト教活動に積極的に参加する意思が明確である方。 (所属教会牧師・神父による受洗証明と推薦書※1が必要です。)
B	キリスト教を建学の精神とする学校※2の生徒で、建学の精神に基づく諸活動(聖書研究会、聖歌隊、ボランティア活動等)において顕著な実績があり、入学後東北学院大学のキリスト教活動に積極的に参加する意思のある方。 (志願に際しては、学校の宗教主任等からの推薦書※1が必要です。)

⚠【注意点】

- ※1 推薦書は、募集要項内の所定書式使用してください。
- ※2 キリスト教を建学の精神とする学校とは、キリスト教学校教育同盟、あるいは日本カトリック学校連合会に所属する学校を対象とします。

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
11月1日(水)~11月6日(月)15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	土樋・五橋キャンパス	12月1日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

「学業成績による推薦(指定校推薦)」に準じます。
詳細は前ページの学業成績による推薦(指定校推薦)を参照してください。

◆志望理由書について

出願時には「志望理由書」を提出していただきます。志望理由書の詳細については、27ページの「志望理由書について」を参照してください。

■入学手続

手続方法	日時
全納のみ	2023年12月20日(水)15時必着

全納とは:指定期日までに一括で入学金および前期授業料等を振り込むことに加え、必要書類一式を提出することです。
入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。

学校推薦型選抜 資格取得による推薦(指定校推薦・公募推薦)

■募集定員

経営学科のみの募集となります。

詳細は「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のいずれかの推薦制度の条件に該当する方です。

推薦制度名	出願条件
資格取得による推薦 (指定校推薦)	下記の①~④すべてに該当する方です。 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方 ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方 ③ 本学が指定した学校長からの推薦による方 ④ 日商簿記検定2級以上合格の方で、調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の方
資格取得による推薦 (公募推薦)	下記の①~③を満たし、④または⑤のいずれかに該当する方です。 ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方 ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方 ③ 学校長からの推薦による方 ④ 日商簿記検定2級以上の合格の方で、調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の方 ⑤ 全商簿記検定1級合格の方で、調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上かつ、「外国語(英語)」「国語」「数学」の各教科の学習成績の状況が4.0以上の方

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

選抜制度名	出願期間	試験日	試験場	合格発表
資格取得による推薦(指定校)	11月1日(水)~11月6日(月)	11月18日(土)	土樋・五橋 キャンパス	12月1日(金)
資格取得による推薦(公募)A日程	15時必着	11月19日(日)		10時
資格取得による推薦(公募)B日程	12月5日(火)~12月8日(金)	12月16日(土)		12月22日(金)
	15時必着			10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 指定校・A日程の試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に評価し選抜します。

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	100	200	100	400

- (1) 小論文 与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分/要約100字程度、論述700字程度)
- (2) 面接 面接試験担当者による個人面接を行います。(5~10分程度)

小論文作成のポイントが
40,41ページにあります。

■入学手続

選抜制度名	手続方法	日時
資格取得による推薦(指定校)	全納のみ	2023年12月20日(水)15時必着
資格取得による推薦(公募)A日程		
資格取得による推薦(公募)B日程	全納のみ	2024年1月10日(水)15時必着

全納とは:指定期日までに一括で入学金および前期授業料等を振り込むことに加え、必要書類一式を提出することです。入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。

志望理由書について

学校推薦型選抜(学業・キリスト・資格・スポーツ・文化)の出願時には「志望理由書」を提出していただきます。2023年度「志望理由書」の設問項目は下表の内容となっております。申請書作成の参考にしてください。

	設問項目
I	本学全体および志望する学部の入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)をふまえながら、あなたが出願した本学の学科を希望する理由について記述してください。
II	あなたが出願した本学の学科に入学したとき、その学科で学生として、どのような学修を行いたいと考えていますか。学科の理念・目的・求める学生像に対する理解や考え方をふまえながら、学修計画について記述してください。
III	高校生活の中で、主体的に取り組んだ探求的な学習活動の一つを選び、その概要をまとめてください。高校の授業外で行った活動の記録や成果でもかまいません。グループによる学習活動の場合は、あなたが担当した役割等がわかるように記述してください。

学校推薦型選抜 **スポーツに優れた者の推薦(公募推薦)**

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 学校長からの推薦による方
- ④ 調査書の全体の学習成績の状況が3.2以上の方
- ⑤ 東北学院大学における志望学部での勉学に励み、かつ入学後、出願する本学体育系クラブでのスポーツ活動を継続する意思を持つ方
- ⑥ スポーツ実績が、次に掲げる基準(1)~(3)のいずれかに該当する方

(1)	全国大会※1もしくは広域大会※2出場の成績をおさめた方、または同様の成績をおさめたチームの登録選手として出場した方
(2)	都道府県大会※2で8位以内の成績をおさめた方、または同様の成績をおさめたチームの登録選手として出場した方
(3)	(チームスポーツにおいて)所属するチームが上記①②の競技成績を残せなかった場合でも、そのクラブの指導者が、上記と同等以上の競技能力を持っていることを証明できる方(所属クラブ指導者による記録証明書等)

【スポーツ実績における注意事項】

- ※1 全国大会とは、全国高等学校総合体育大会(インターハイ)及びそれに準ずる大会、国民体育大会を指します。
- ※2 広域大会、都道府県大会とは、全国大会の予選(県高総体等)や、県大会を経た広域大会(東北大会、関東大会等)を指します。
- ※3 国公立高等学校または私立高等学校だけでの大会は出願基準の対象とはなりません。
- ※4 武道関係の競技種目については、流派だけの独自大会等は出願基準の対象とはなりません。
- ※5 学年別等、出場者が限定された大会等は出願基準の対象とはなりません。
- ※6 「アメリカンフットボール」は、アメリカンフットボール以外の競技実績を持つ方の出願も可能です。

スポーツに優れた者の推薦(公募推薦) 対象種目と注意事項

スポーツに優れた者の推薦志願者は下表の中から対象となる種目を選ぶことになります。()内は対象となる性別です。

種 目 名					
硬式野球 (男)	卓球 (男女)	ボクシング (男)	アイスホッケー (男)	スケート	アイスホッケー (男)
準硬式野球 (男)	バドミントン (男女)	フェンシング (男)	フィギュア (男女)		フィギュア (男女)
軟式野球 (男)	ポウリング (男女)	フェンシング (女)	自転車競技 (男女)	自転車競技 (男女)	自転車競技 (男女)
サッカー (男)	ゴルフ (男)	レスリング (男)	山岳 (男女)	山岳 (男女)	山岳 (男女)
ラグビー (男)	ゴルフ (女)	洋弓 (男女)			
アメリカンフットボール (男)	柔道 (男)	ライフル射撃 (男女)			
バスケットボール (男女)	剣道 (男女)	陸上競技 (男女)			
バレーボール (男)	弓道 (男)	水泳 (男女)			
バレーボール (女)	弓道 (女)	スキューバダイビング (男女)			
ハンドボール (男)	空手道 (男女)	スキー (男女)			
硬式テニス (男女)	合気道 (男女)	ヨット (男女)			
ソフトテニス (男女)	少林寺拳法 (男女)	ボート (男女)			

■スポーツに優れた者の推薦 書類予備審査について

出願を希望する方には、「スポーツ実績の評価等に関する書類予備審査」を受けることを勧めます。この審査を受けると推薦選抜当日のスポーツテストが免除されます。評価結果は評価通知日に出願者に発送します。なお、審査料は無料です。

申請期間	提出先	評価通知
9月15日(金)~9月22日(金)15時必着	東北学院大学 アドミッションズ・オフィス	10月6日(金)

【補足説明】

- (1) 書類予備審査申請書は、本学ホームページより取得可能です。詳細に関する問い合わせは学生課(022-264-6471)またはアドミッションズ・オフィスにご連絡ください。
- (2) **スポーツに優れた者の推薦での受験を希望する場合は、事前に当該種目のクラブと連絡をとることを勧めます。**
問い合わせ先：学生課 TEL022-264-6471

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
11月1日(水)~11月6日(月)15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	土樋・五橋キャンパス	12月1日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に評価し選抜します。

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

(1) 小論文

【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部志望の場合】

与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分/要約100字程度、論述700字程度)

【工学部志望の場合】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分/600字程度)

(2) 面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(5~10分程度)

(3) スポーツテスト

「スポーツ実績の評価等に関する書類予備審査」を受けていない方は、試験当日に専門種目の技能についてテストを行います。

小論文作成のポイントが
40,41ページにあります。

◆志望理由書について

出願時には「志望理由書」を提出していただきます。志望理由書の詳細については、27ページの「志望理由書について」を参照してください。

■入学手続

手続方法	日時
全納のみ	2023年12月20日(水)15時必着

全納とは:指定期日までに一括で入学金および前期授業料等を振り込むことに加え、必要書類一式を提出することです。入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。

学校推薦型選抜 文化活動に優れた者の推薦(公募推薦)

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方
- ② 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合、必ず入学手続きをする意思のある方
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の方
- ④ 入学後も学業と学生団体での活動を両立させる強い意思と能力を持ち、4年間活動を続けることができる方
- ⑤ 学力・人物共に優秀であり、高等学校・中等教育学校在学中にクラブ活動等で活躍し、クラブの顧問等教員および学校長からの推薦による方

文化活動に優れた者の推薦(公募推薦) 対象となる文化活動

文化活動名	本学の団体名	活動内容
応援団	応援団	学生会総合役員会に所属し大学公式行事の参加および体育会各部への応援活動。全日本学生応援団連盟加盟。
チアリーディング	チアリーディングチーム	大学公式行事の参加および体育会各部への応援活動。チアリーディング選手権大会等の出場。
合唱	キャロラズ	女声合唱(一般合唱曲、宗教曲)。演奏会開催。
	グリークラブ	男声合唱(一般合唱曲、宗教曲)。演奏会開催。
	宗教部聖歌隊	混声合唱(一般合唱曲、宗教曲)。大学公式行事の支援。演奏会開催。
吹奏楽	シンフォニック・ウィンド・アンサンブル(S.W.E)	大学公式行事の参加および体育会各部への応援活動。全日本吹奏楽コンクール等の出場。演奏会開催。
美術	美術部	絵画(水彩、油彩)作品、立体作品等の作成。自団体、他団体との合同での展示会実施。
書道	書道研究部	楷書、行書、草書、かな、隷書、篆書、近代詩文、墨象、少字、刻字、篆刻等々の創作。自団体、他団体との合同での展示会実施。
英語	英語会(ESS)	スピーチ、ディスカッション、ドラマ(演劇)等の分野での活動。他大学との合同活動あり。
演劇	演劇部	役者、音響、照明、衣装、装置等の分野での活動。年4回の定期公演。
放送 (制作・技術・アナウンス等)	放送会	昼休みの学内放送、ラジオドラマの制作、アナウンス、音響、脚本、ディレクター等の分野での活動。全国大学放送コンテスト出場。
ロボット製作	ロボット研究会	ロボットの製作。大会(ロボコン)出場。

■「文化活動に優れた者の推薦」の書類予備審査について

出願を希望する方は、「文化活動実績の評価等に関する書類予備審査」を必ず受けてください。この書類審査により、受験資格を認めるかどうかを評価します。評価結果は評価通知日に出願者へ発送します。なお、審査料は無料です。

申請期間	提出先	評価通知
9月15日(金)~9月22日(金)15時必着	東北学院大学 アドミッションズ・オフィス	10月6日(金)

【補足説明】

書類予備審査申請書は、本学ホームページより取得可能です。詳細に関する問い合わせは学生課(022-264-6471)またはアドミッションズ・オフィスにご連絡ください。

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
11月1日(水)~11月6日(月)15時必着	11月18日(土) 11月19日(日)	土樋・五橋キャンパス	12月1日(金)10時

- ・ 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- ・ 試験日は上記のどちらかの日にちとなります。
- ・ 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に評価し選抜します。

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	200	100	100	400

(1) 小論文

【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部志望の場合】

与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分/要約100字程度、論述700字程度)

【工学部志望の場合】

与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分/600字程度)

(2) 面接

面接試験担当者による個人面接を行います。(5~10分程度)

小論文作成のポイントが
40,41ページにあります。

◆志望理由書について

出願時には「志望理由書」を提出していただきます。志望理由書の詳細については、27ページの志望理由書掲載箇所を参照してください。

■入学手続

手続方法	日時
全納のみ	2023年12月20日(水)15時必着

全納とは:指定期日までに一括で入学金および前期授業料等を振り込むことに加え、必要書類一式を提出することです。入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。納入金額については、学生納付金等[2023年度参考]を参照してください(50ページ)。

【参考】スポーツに優れた者の推薦・文化活動に優れた者の推薦 書類予備審査申請書について

《スポーツに優れた者の推薦 書類予備審査申請書記入時の留意点》

- ① 書類予備審査申請書の「スポーツ種目」を記入する欄には、高等学校・中等教育学校在学中に活動実績を有し、大学でも引き続き活動を希望する種目を記入してください。種目については書類予備審査の「対象となる種目」にて確認してください。
- ② 書類予備審査申請書の「主な戦績・記録」を記入する欄には、高等学校・中等教育学校在学中の活動記録・実績を記入してください。
記載事項が記入欄に書ききれない場合は、評価を受ける上で特にアピールしたい内容を記入してください。
- ③ 出願資格⑥(3)の要件を満たして出願する方は、現在所属しているクラブ指導者より、記録証明書等を必ず提出してください。



◆書類予備審査申請書は右のQRコードより確認することができます。

《文化活動に優れた者の推薦 書類予備審査申請書記入時の留意点》

- ① 書類予備審査申請書の「文化活動名」を記入する欄には、高等学校・中等教育学校在学中に活動実績を有し、大学でも引き続き行う活動名を記入してください。種目については、書類予備審査の「対象となる文化活動」にて確認してください。
- ② 書類予備審査申請書の「役割」を記入する欄には部長、副部長、パートリーダーもしくは担当のパート(楽器名)など文化活動で担った内容を記入してください。
- ③ 書類予備審査申請書の「主な活動・記録」を記入する欄には、高等学校・中等教育学校在学中の活動を学年ごとに記入してください。「主な出場大会・コンクール等」は大会に出場した方のみ記入でかまいません。
複数の大会やコンクールに出場した場合は成績の良い大会を順に2つ記入してください。
- ④ 賞、順位などがある場合は書類予備審査申請書の「成績・記録・活動内容」の欄に大会の規模をまじえて説明を記入してください。また、大会等の成績が無い場合でも、クラブ活動内で中心的存在として活躍したことがあれば、その内容を具体的に記入してください。



◆書類予備審査申請書は右のQRコードより確認することができます。

【参考】各種学校推薦型選抜の小論文・面接におけるポイント

〈小論文のポイント〉

前年度の小論文の問題は、40、41ページに掲載しています。
評価のポイントは、課題の把握、論旨の展開、文章表現、誤字・脱字、文章量などです。
40、41ページの「小論文作成のポイント」も参考にしてください。

〈面接のポイント〉

面接では、志望理由、勉学意欲、将来についての考えなどを聞かれます。言動・態度なども併せて評価のポイントになります。

特別選抜 帰国生特別選抜

■募集定員

学部	学科	定員	学部	学科	定員
文学部	英文学科	若干名	工学部	機械知能工学科	若干名
	総合人文学科			電気電子工学科	
	歴史学科			環境建設工学科	
	教育学科		地域コミュニティ学科		
経済学部	経済学科	地域総合学部	政策デザイン学科		
経営学部	経営学科	情報学部	データサイエンス学科		
法学部	法律学科	人間科学部	心理行動科学科		
			国際学部	国際教養学科	

■出願資格

次のいずれかに該当する方で、日本国籍を有し、家族の外国勤務・在留にともない外国の学校に在学し、卒業後大学入学時までの経過年数が原則として1年未満の方です。

- ① 外国において通常の課程による12年の学校教育課程(日本における通常の課程による学校教育期間を含む)を修了し、そのうち外国において在住国の正規の教育制度に基づく中等教育機関に最終学年を含めて2年以上継続在学して卒業した方、または2024年3月までに卒業見込みの方
- ② 外国において、中等教育機関に3年以上継続して在学し、外国の学校教育課程に基づく教育を受け、帰国後日本の高等学校に入学し、当該高等学校を2024年3月までに卒業見込みの方。ただし、日本の高等学校もしくは中等教育学校(後期課程)における在学期間が帰国後1年半を超えない方
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した方に準ずる方で、文部科学大臣の指定した方(原則として、最終学年を含めて2年以上継続在学した方であること)

■出願期間

■試験日

■試験場

■入学検定料

■選抜方法

■合格発表

■入学手続

すべて「総合型選抜」に準じます。
20～23ページを参照してください。

特別選抜 外国人留学生特別選抜

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次のすべてに該当する方です。

- 2024年4月1日現在、外国籍をもつ方で、次の①、②のいずれかに該当する方
 - 外国において通常の課程による12年の学校教育課程を修了した方、またはその国において大学入学資格を有する方
 - 文部科学大臣の指定した方
- 入学までに「出入国管理および難民認定法」の「留学」に定める在留資格に変更する方
- 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を2023年6月または11月に指定する教科・科目を受験した方で、日本語の得点が、受験生の平均点以上の方
出願する学部により次の教科・科目を指定します。日本留学試験の出題言語は日本語です。

学部	試験科目(必須)	試験科目(選択)
文学部 経済学部 経営学部 法学部 地域総合学部 国際学部	日本語	総合科目・数学(コース1)から どちらか1科目
情報学部 人間科学部	日本語	理科(2科目自由選択)・総合科目・ 数学(コース1)からどれか1科目
工学部	日本語、理科(物理・化学)、数学(コース2)	

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
12月19日(火)~1月5日(金) 15時必着	2月2日(金)	土樋・五橋キャンパス	2024年2月10日(土)10時

- 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部志望の場合】

書類審査、日本語による小論文、面接

試験科目	書類審査	小論文	面接	合計
配点	50	100	100	250

【工学部】

書類審査、日本語による小テスト、面接

試験科目	書類審査・小テスト	面接	合計
配点	200	100	300

■入学手続

手続方法	締切日	2月20日(火)15時必着	3月8日(金)15時必着
全納		・入学時納付金の全額納入 ・指定書類の提出	—
分納		〈第一次手続〉 ・入学金の納入 ・指定書類の提出	〈第二次手続〉 ・入学金を除く納付金の納入 ・指定書類の提出

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

▲【注意点】

- 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学することはできません。
- 納入金額については、学生納付金等(2023年度参考)を参照してください(50ページ)。
- 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2024年3月29日(金)正午までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。[2024年2月中旬公開予定]

特別選抜 社会人特別選抜

■募集定員

「学部・学科および募集定員」(5ページ表)を参照してください。

■出願資格

次に該当する方です。

2021年3月以前に高等学校または中等教育学校を卒業した方、および高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)に合格した方

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

出願期間	試験日	試験場	合格発表
2月9日(金)~2月15日(木) 15時必着	3月4日(月)	土樋・五橋キャンパス	2024年3月13日(水)10時

- 出願書類が出願期間より早く送付された場合は、出願期間初日に受付します。
- 合格発表は合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

出願書類の審査、小論文、面接により総合的に評価し選抜します。

試験科目	小論文	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

- 小論文
 - 【文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部志望の場合】
与えられた文章の要約や自分の意見の論述をします。(60分/要約100字程度、論述700字程度)
 - 【工学部志望の場合】
与えられたテーマに関して、自分の意見の論述をします。(60分/600字程度)
- 面接
面接試験担当者による個人面接を行います。(20分程度)

■入学手続

日 時
3月22日(金)15時必着

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

▲【注意点】

- 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学することはできません。
- 納入金額については、学生納付金等(2023年度参考)を参照してください(50ページ)。
- 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2024年3月29日(金)正午までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。[2024年2月中旬公開予定]

編入学選抜(3年次)

■募集定員

学部	学科	定員
文学部	英文学科	12
	総合人文学科	2
	歴史学科	3
経済学部	経済学科	9
	共生社会経済学科	3
経営学部	経営学科	8
法学部	法律学科	6

学部	学科	定員
工学部	機械知能工学科	6
	電気電子工学科	6
	環境建設工学科	5
	情報基盤工学科	5
教養学部	人間科学科	2
	言語文化学科	2
	情報科学科	2
	地域構想学科	2

※定員数はA日程とB日程の合計です。

■出願資格

次のいずれかに該当する方です。

- ① 短期大学を卒業した方、または2024年3月に卒業見込みの方
- ② 高等専門学校を卒業した方、または2024年3月卒業見込みの方
- ③ 本学以外の大学に2年以上在学し(2024年3月までに2年以上在学となる場合を含む)、62単位以上(教職・学芸員等の資格に関する科目を除く)を修得した方、または2024年3月修得見込みの方
- ④ 学士の学位を有する方、または2024年3月取得見込みの方
- ⑤ 専修学校の専門課程を修了した方、または2024年3月修了見込みの方で、文部科学大臣の定めるところにより大学への編入学の資格を認められた方、または2024年3月取得見込みの方

▲【注意点】

- ① 編入学(3年次)には「一般編入学」のほかに、A日程で「推薦による編入学」、A及びB日程で「社会人の編入学」、B日程で「外国人の編入学」の制度があります。詳細についてはアドミッションズ・オフィスに問い合わせのうえ、募集要項で確認してください。
- ② 「推薦による編入学」への出願が認められるのは、本学の学科内容と同系統を学ぶ短大・高専・専門学校で優秀な成績を修めた方にかぎられます。希望される場合は現在所属の学校の編入担当者(部局)を通して、具体的推薦条件について8月末までにアドミッションズ・オフィスに確認してください。
- ③ 本学在学者は、転学科(転学部を含む)の対象となるため出願できません。
- ④ 出願資格要件を満たす見込みで合格し、入学手続きを完了しても、出願資格要件を満たせなかった場合、合格は取り消されます。

■出願期間・試験日・試験場・合格発表

	出願期間	試験日	試験場	合格発表
A日程	2023年9月9日(土)～14日(木)15時必着	10月5日(木)	土樋・五橋キャンパス	10月13日(金)10時
B日程	2024年2月9日(金)～15日(木)15時必着	3月4日(月)		3月13日(水)10時

合格発表時刻に合格者受験番号を本学ホームページにて掲載します。

■入学検定料

30,000円

■選抜方法

出願書類の審査、英語、小論文(工学部は小テスト)、面接により総合的に評価し選抜します。ただし、「推薦による編入学」「社会人の編入学」「外国人の編入学」には英語の試験を課しません。

【一般編入学】

試験科目	英語	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	100 (英文学科は200)	200 (英文学科は100)	100	400

【推薦による編入学】「社会人の編入学」「外国人の編入学」

試験科目	小論文(小テスト)	書類審査・面接	合計
配点	200	200	400

- (1) 英語 マークシート方式(60分/40問)
- (2) 小論文 【文・経済・経営・法・教養学部】
与えられた文章を要約し、それに対する自分の意見を論述したり、与えられたテーマについて自分の考えを論述します。(60分/800字程度)
小テスト【工学部】
数学・物理・化学の基礎的問題を数問解答します。(60分/4～5問程度)
- (3) 面接 面接試験担当者による個人面接を行います。(5～10分程度)

■入学手続

	日時
A日程	2023年10月27日(金)15時必着
B日程	2024年 3月22日(金)15時必着

入学手続は、納付金の納入と指定書類の提出によって完了します。

▲【注意点】

- ① 合格通知書に記載された入学手続期日までに手続きをしない場合は、入学することはできません。
- ② 納入金額については、学生納付金等(2023年度参考)を参照してください(50ページ)。
- ③ 入学手続を完了し、その後やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合は、2024年3月29日(金)正午までに入学辞退および学納金返還の手続(書類提出を含む)を行えば、辞退を認め、入学金を除く入学時納付金を返還します。詳細はホームページを参照してください。

【お知らせ】編入学選抜について

本学の編入学選抜において、本年度より下記内容が変更となります。

1. 2024年度以降の2年次編入学の募集停止について

2年次編入学は、2024年度選抜より募集いたしません。

2. 2025年度以降の3年次編入学の募集について

- ① 2025年度選抜より3年次編入学は右表の学科のみ募集します。その他の学科は、対象学年の学科定員を充たしていない年度のみ募集します。募集の有無および募集定員は募集年度の6月末までに本学WEBサイトにて公表します。
- ② 試験実施は年1回春季とします。
- ③ 2025年度選抜より、「推薦による編入学」「社会人の編入学」および「外国人の編入学」については、募集しません。

●募集学部・学科・定員

学部	学科	募集定員
文学部	英文学科	3名
	総合人文学科	1名
	歴史学科	1名
経営学部	経営学科	2名

募集要項について

全ての選抜制度において募集要項は、本学ホームページよりダウンロードにて取得する形式となります。
取得可能時期となりましたら、ご確認ください。

選 抜 制 度	種 類	取得可能予定時期
総 合 型 選 抜 帰 国 生 特 別 選 抜	募集要項(第一次選抜への出願者用)	6月中旬～
	募集要項(第二次選抜への出願者用)	10月中旬～
学業成績による推薦(指定校推薦) 資格取得による推薦(指定校推薦)	募集要項	9月下旬～
資格取得による推薦(公募推薦) キリスト者等推薦(公募推薦)	募集要項	9月下旬～
スポーツに優れた者の推薦(公募推薦)	書類予備審査申請書	7月上旬～
	募集要項	8月上旬～
文化活動に優れた者の推薦(公募推薦)	書類予備審査申請書	8月上旬～
	募集要項	9月上旬～
外国人留学生特別選抜	募集要項	8月下旬～
社会人特別選抜	募集要項	8月下旬～
編 入 学 選 抜	募集要項	8月上旬～
一 般 選 抜 スカラシップ選抜 大学入学共通テスト利用選抜	募集要項	11月中旬～

受験上及び修学上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な場合、出願(入学検定料納付前)の6ヶ月前までに必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。また、入学後の修学上の配慮を希望する場合も必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。申請内容によっては、キャンパスを見学することもお勧めします。

申請の流れは下表に従ってください。必要な場合、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともあり得ますので、予めご了承をお願いいたします。

【申請の流れ】

- ① 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスに連絡。
- ② 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスより、「受験上及び修学上の配慮申請書」を取得。
- ③ 必要事項を記入した書類に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピーを提出。
- ④ 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスより申請内容について、回答をいたします。

提出書類	「受験上及び修学上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピーまたは医師の「診断書」のコピー
申請期限	出願の6ヶ月前まで
連絡先	〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス TEL022-264-6455 FAX022-264-6377

合否照会システムについて

合否照会システムは、下記の「ウェブサイト」で合否を確認できるシステムです。
利用には、「受験番号(6桁)」と「誕生日(4桁)」が必要です。利用方法については、こちらをご確認ください。

東北学院大学 合否照会 検索 <https://www.gouhi.com/tohoku-gakuin/>

※本システムの「誤操作」などを理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
※合格発表日(合否案内開始直後)は、Webでの通信が遅くなったりする恐れがあります。そのような場合は少し時間をずらしてご利用ください。
※受験者の氏名・合否について、E-mail・直接電話でのお問い合わせには応じかねますのでご了承ください。

仙台で学ぶ
東北学院大学で学ぶ

定員 36 名 ・学科枠 15 名 ・地区枠 21 名	年間 50 万円 給付 4 年間で 200 万円 給付 (継続条件あり)	東日本 11 地区 で受験可能	奨学金 特待生 30 万円 優等生 10 万円 と同時受給可能
--	--	---------------------------	--

東日本地域別 スカラシップ選抜

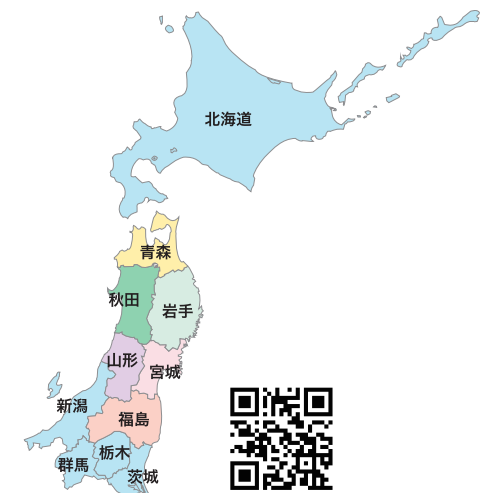
2024年2月1日 木

出願期間 2024年1月6日(土)～1月16日(火)

※一般選抜前期 A 日程を利用した選抜となります。
※出願には、一般選抜前期 A 日程の出願に加え、スカラシップ選抜へのエントリーが必要です。
※この選抜制度は、合格した場合に入学をお約束いただける方のみ出願できます。

※出願要件 北海道・青森・岩手・秋田・山形・宮城・福島・新潟・栃木・茨城・群馬の11道県
いずれかの出身者。詳しくは受験ガイドおよびホームページでご確認ください。

特待生および優等生制度による奨学金の同時受給が可能です。
(特待生 30 万円・優等生 10 万円)



2023年度学校推薦型選抜・総合型選抜小論文過去問

- 文学部
- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 地域総合学部
- 情報学部
- 人間科学部
- 国際学部

学校推薦型選抜・総合型選抜A日程第二次選抜

以下の文を読み、問いに答えなさい。

問1 文章の内容を100字以内に要約しなさい。

問2 本文に照らして、「日本人の血」についてあなたの考えを700字以内で述べなさい。

映画「天使にラブ・ソングを…」などで日本でも知られる米国の俳優ウーピー・ゴールドバーグが1月末、自身がメインキャストを務めるトーク番組で「ホロコーストは人種問題ではない」と発言し、物議を醸した。ABCテレビは彼女に2週間の出演停止処分を言い渡した。彼女は別番組で「黒人である私にとって人種とは目に見えるものだから」と釈明しようとしたが、自身のさらなる偏見をさらけ出しただけだった。

数多くの批判が指摘しているように、ホロコーストは「人種」に基づく虐殺であった。「アーリア人種の優越性は神の意思によるもの」と考えたヒトラーは、最も危険視した「ユダヤ人種」を人種階梯(かいてい)の最下位に位置づけた。自分たちの「純血」を守る名目で、推定600万人のユダヤ人を含む大量虐殺を行った。

ユダヤ人虐殺はナチズムによる一過性の大惨事ではない。前近代から、ユダヤ人は生まれながらにしてけがれた血をもつとされ、虐殺や暴力の対象とされてきた。その中には、ホロコースト同様、キリスト教徒への改宗者が含まれていた。つまり宗教迫害ではなく、抹消すべき人種だとみなされたからだ。

誤解のないように付言すれば、ここでいう人種とは、今日の遺伝学的見地

からは否定されている生物学的概念ではない。生まれながらに「異なる」と信じられ、劣等視されてきた、社会的につくられた「人種」を指す。人種差別と格差が歴然と存在する以上、社会的な人種を語ることは不可欠であり、彼女の発言をめぐる議論ではそれが前提とされている。

さて日本でも、政治家らが度々吐露するように、「日本には人種差別はない」とする考えが根強く残っている。人種といえば、黒人のような外見の異なる集団を指すもの、日本に黒人はいない、だから日本に人種差別はない、という何重にも誤った解釈だ。人種概念を欧米から受容した幕末・明治初期にさかのぼる時代遅れの解釈である。しかし在日コリアンや中国人らに対する差別や偏見には、単に文化や慣習だけではなく、「日本人とは血が違う」、つまり生まれながらにして能力や気質が違うとする偏見に満ちた人種観が見受けられる。「〇〇は日本人のDNAに埋め込まれている」といった表現も、場合によっては危険な思想につながりかねない。

ヘイトスピーチや就職差別、入居差別などを含め、日本社会における「目に見えない」マイノリティーに対する差別も、明らかに人種差別撤廃条約*に違反する。この認識が社会に広まることで、人種差別解消に近づくための第一歩だ。

*出題者注：「あらゆる形態の人種差別の撤廃に関する国際条約」の略称。日本は1995年に加入
出展：竹沢奏子(2022)「人種」は見えるものか 社会的に作られる認識を、『朝日新聞(朝刊)』2022年3月8日、p.15より(<http://database.asahi.com/library2/main/top.php>)

総合型選抜B日程第二次選抜・TG推薦・資格取得による推薦B日程

以下の文を読み、問いに答えなさい。

問1 文章の内容を100字以内に要約しなさい。

問2 インターネット上での人間関係の構築は社会的孤立の解消につながるか、あなたの意見を700字以内で述べなさい。

2021年10月、京王線の車内で無差別刺傷事件を起こした青年は、犯行時にジョーカーの仮装をしていた。逮捕後には「ジョーカーに憧れていた」とも供述している。(中略)

不運な出自を背負い、社会から疎外された人物として描かれた2019年公開の映画「ジョーカー」のそれだろう。この映画に登場するジョーカーは、ある神経障害によって幼少期から他者との交流に困難を抱え、成育した家庭環境も劣悪のために人生の辛酸を舐めさせられていた。そんな境遇のなかで狂気へと追い込まれていった彼は、地下鉄内で起こした銃撃事件への反響の大きさから、社会に混乱をもたらすことにやがて快感を覚えるようになる。

無差別刺傷事件を起こした青年も、仕事で失敗したり、人間関係がうまくいかなかったりしたという。そんな境遇からジョーカーに魅せられ、社会に大きな衝撃を与えて人生を終えたいと願うようになったと供述している。ジョーカーを気取った彼は、犯行後の車内で煙草を吹かしていた。しかしその手は震えてもいた。おそらく虚勢を張っていたのだろう。

事実、この青年の過去を知る人たちは、目立たなくて大人しい人物だったと語っている。彼の人物像と生活史から透けて見えてくるのは、社会のどこにも居場所がないという疎外感と、それに由来する承認欲求の強さである。自

分の存在感を欠落させた人間が、人生への絶望から無差別刺傷事件を起こしてしまう。このような自己顕示欲の発露として起こされる犯罪の背後には、社会的孤立の深刻化という問題が潜んでいる。(中略)

社会的孤立は、そもそも社会的存在である人間から、その正常な判断の基盤を奪ってしまうのである。

社会から排除された人間が、心ない風評等に不満を募らせて起こす犯罪は、過去にも時おり見受けられた。横溝正史の「八つ墓村」のモチーフになった津山事件などはその典型例だろう。その犯行時に煮えたぎっていたのは、自分を拒絶した人々たちに対する抑えがたい怨念だった。かつての村落共同体のように束縛の強い世界では、その濃密な関係からいったん外されると、その後まともな生活を営んでいくことは困難だった。だからこそ私たちは、その息苦しく狭い世界を嫌悪し、周囲から束縛を受けることなく生きられる社会の実現を目指してきたのだといえる。

その結果、現代の私たちは、かつてより多くの自由を手に入れ、一人でも生きていける解放感を味わっている。しかしその代償として、承認の欠落という不安を同時に抱え込んでしまった。人生に対する絶望感を背負っている点では似通った犯行でありながら、「自分を指さすな」と特定の他者へ向けた不満の発露から、「自分を指さしてくれ」と不特定の他者へ向けた不安の発露へと内実が大きく変貌したのは、このような時代の変化による。

出展：土井隆義(2022)「平坦な戦場で僕らが生き延びること―社会的孤立と関係格差の最前線」『中央公論』第136巻第3号、pp.44-53より一部抜粋して引用

工学部

学校推薦型選抜・総合型選抜A日程第二次選抜

機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

これからの宇宙開発に関して工夫すべき事柄について、機械工学またはエネルギー資源の観点から、あなたの考えを述べなさい。ただし、用いる観点は機械工学、エネルギー資源の片方でも両方でもよい。

電気電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

宇宙開発分野における「電気工学的技術(電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系)」が担う役割を一つ挙げ、今後どのように発展することが望ましいか、あなたの意見を述べなさい。

環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

カーボンニュートラルは、「温室効果ガスの排出を実質ゼロにする」ことを意味している。温室効果ガスの排出を完全にゼロにすることは現実的に難しいため、排出量から吸収または除去した量を差し引いて、全体としてプラスマイナスでゼロにするという考え方である。

日本では、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち「2050年カーボンニュートラルの実現を目指す」と宣言している。

上記のように、2050年までにカーボンニュートラルを実現するため、国や自治体が行うべきことと自分ができることについてあなたの考えを述べなさい。

工学部

総合型選抜B日程第二次選抜・TG推薦

機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

車輪の回転により路上を移動する自動車と、「空飛ぶクルマ」を比較し、それぞれの長所と短所について、あなたの意見を述べなさい。

【注意】
経済産業省は「空飛ぶクルマ」を「電動垂直離着陸型無操縦者航空機」と定めている。しかしながら、本試験では「空飛ぶクルマ」について、「電力以外をエネルギー源とするもの」や、「人が搭乗して操縦するもの」を含めて論じてよい。

電気電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

「環境」という言葉から、あなたが想定する電気電子工学に関するキーワードを一つ挙げて説明し、今後どのように発展していく事が望ましいか述べなさい。

環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

日本における建設業(建築・土木)就業者は平成9年に685万人(全体就業者数6557万人中)だったが、平成28年には492万人(全体就業者数6440万人中)まで減少している。一方、3K(きつい、汚い、危険)という建設業における負のイメージは未だに根強く存在しており、国土交通省と建設業界は平成27年から新3K(給料が良い、休暇が取れる、希望が持てる)を新たに掲げイメージ改善に取り組んできた。また、これら新3Kを実現するために、国土交通省は平成30年に「働き方改革加速化プログラム」を発表し、週休2日制や新技術導入による生産性向上などその実践を建設業界に要請している。

以上の状況を踏まえて、現在あなたが持っている建設業界に対するイメージと建設業界の仕事に対する理解度を述べなさい。また、もしあなたが建設業界の広報を担当する立場ならば、何を重点的にアピールして若者の心をつかみたいのかを述べなさい。

学校推薦型選抜・総合型選抜

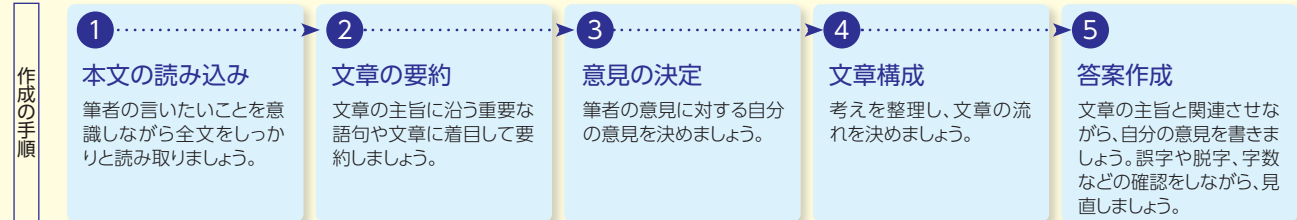
小論文作成のポイント

本学の小論文は、文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部と工学

部で問題形式が異なります。次の手順のように順序立てて書いてみましょう。

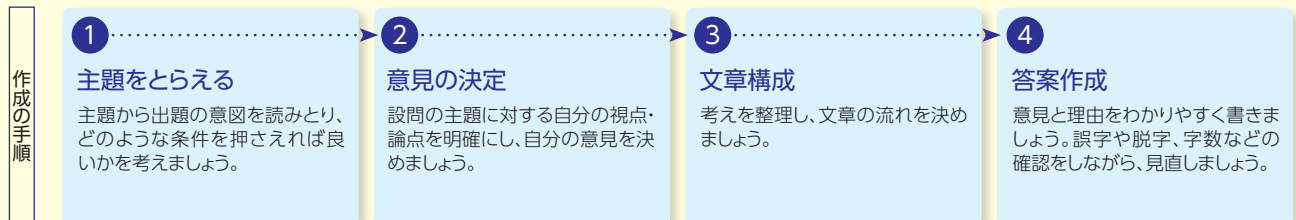
文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部

○文章を読み、要約と意見を論述する形式(資料読解型小論文)



工学部

○課題(テーマ)について意見を論述する形式(課題(テーマ)型小論文)



受験生Q&A

一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜共通

Q.大学入学共通テスト利用選抜で、複数学科の併願はできますか？ また、一般選抜との併願はできますか？

A.大学入学共通テスト利用選抜では前期も後期も複数学科を併願することができます。また、大学入学共通テスト利用選抜と一般選抜との併願もできます。併願する場合は、併願する分の入学検定料が必要となります。

Q.複数の出願を予定しています。調査書や志望理由書は、出願する数だけ必要ですか？

A.調査書や志望理由書は1通のみで結構です。志望理由書は、第一希望の学科に対する志望理由書を提出してください。なお、前期日程に出願していても、後期日程に出願する場合は、再度提出が必要です。

Q.合否判定の際、提出書類(調査書・志望理由書など)はどの程度評価されるのでしょうか？

A.本学では、学力試験に加えて、提出していただいた書類も審査し、その総合評価で合否判定を行っています。提出書類の審査では、高等学校などにおける学習の成果に加えて、受験生の学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」及び「主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度」)などを評価します。

Q.一般選抜前期日程や大学入学共通テスト利用選抜前期で、ある学科に合格しましたが、一般選抜後期日程や大学入学共通テスト利用選抜後期を受験することができますか？ また、入学手続はどのようになりますか？

A.どちらも受験できます。さらに一般選抜前期日程や大学入学共通テスト利用選抜前期で合格し、入学手続を完了している方が、一般選抜後期日程や大学入学共通テスト利用選抜後期で合格した場合、本人の申し出により、一般選抜前期日程や大学入学共通テスト利用選抜前期分の入学時納付金を一般選抜後期日程や大学入学共通テスト利用選抜後期で合格した学科へ振り替えることができます。

Q.出願状況を知ることができますか？

A.一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜については、出願期間の締切後に本学ホームページでお知らせします。前期日程は1月20日頃、後期日程は2月24日頃を予定しています。

Q.入試問題(過去問題)を見ることができますか？

A.一般選抜問題(正答および正答例付)を本学ホームページに掲載しています。なお、過去問題の発送は行っていません。

総合型選抜

Q.第一次選抜は「書類審査と面接」とありますが、特にどんな点を評価対象にするのですか？

A.受験生に求める知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などは、「総合型選抜における重要評価点(学科別)」(23ページ)に示されています。この重要評価点が各学科の求める学生像であり、面接は各学科の面接委員がそれぞれの方法で行います。

また、単に勉学の面で優れているだけでなく、個性的で人間的な魅力のある学生としてその学科に良い影響をもたらすかどうかという点も、重要な評価ポイントになります。

受験生は、そうした点がアピールポイントとなるように準備し、申請書や面接においてしっかりと伝えてください。

Q.総合型選抜で複数回の出願は可能ですか？

A.A日程とB日程の両方に出願することは可能です。ただし、A日程で出願した学科にB日程で再度出願することはできません。

また、B日程は出願期間が短いので、出願する場合は早めに準備をしておいてください。

Q.第一次選抜の面接日時の希望は聞いてもらえますか？

A.希望を出すことは出来ません。ただし、遠隔地からの受験生には、なるべく日帰り可能な時間帯に面接できるよう配慮しています。

Q.第一次選抜の評価がBやCの場合、合格の可能性はどのくらいでしょうか？

A.2023年度総合型選抜結果(45ページ)を参考してください。特に第二次選抜欄の第一次評価Bと第一次評価Cの受験者数、合格者数を参考にしてください。

学校推薦型選抜

Q.文化活動に優れた者の推薦は、どのような人が出願できますか？

A.高校在学中に文化活動(応援団、チアリーディング、合唱、吹奏楽、美術、書道、英語、演劇、放送、ロボット製作)で活躍してきた方が該当します。対象となる文化活動は、30ページ記載の団体です。

Q.文化活動に優れた者の推薦の書類予備審査とは何ですか？

A.「文化活動実績の評価等に関する書類予備審査」申請期間中に「書類予備審査申請書」を提出し、高校での活動内容や大会・コンクールの結果などを評価して、本出願の前に受験資格を審査するものです。この審査によって受験資格を認められた方が本出願できます。

Q.文化活動に優れた者の推薦では、高校外での団体に所属している活動も評価されますか？

A.高校のクラブ活動等以外でも評価の対象となります。

Q.文化活動に優れた者の推薦は、実技をすることはありますか？

A.ありません。書類のみの審査となります。

12月5日更新

本学の合格発表は合否照会システムから確認することができます。本年度より、**郵送による通知は行っておりません**のでご注意ください。また合格通知書や入学手続きに関する書類は出願時に使用したWeb出願システムより取得します。**郵送による通知はありません**ので、ご注意ください。

合格発表

Q.大学から合否の通知はあるのでしょうか？

A.本学では不合格通知は行っていません。合格者には発表日に合格通知書と入学手続要項を速達で郵送します。一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、帰国生特別選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜については、合格発表日に合否照会システムを利用して、パソコン、スマートフォンで合否を確認することができます(各募集要項を参照)。なお、本学アドミッションズ・オフィスへの電話、ファックス、メール等による直接の合否問い合わせには一切お答えしていません。

Q.一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜で追加合格はありますか？

A.合格者の入学手続状況により、欠員が生じた場合には追加合格を出すことがあります。合格者には本学ホームページや電話・郵送等でお知らせし、合格通知書・入学手続要項をお送りする予定です。追加合格の場合は、別に指定された期間内に入学手続をしなければなりません。

その他

Q.授業(講義)の内容を教えてください。

A.本学ホームページの大学要覧(シラバス)で確認できます。

東北学院大学HPトップページ ▶ 授業・学生生活 ▶ 講義要覧(シラバス)
▶ ○○学部(学部を選択) ▶ 検索フォーム ▶ 科目検索

Q.調査書の手配が遅れ、出願に間に合わないときはどうなりますか？

A.出願書類の受付期間は厳守です。一般選抜前期日程、大学入学共通テスト利用前期の出願期間は、年明け早々のため、高校での発行が遅れるケースがあるようです。調査書は3ヶ月前から有効となりますので、早めの準備をおすすめします。

入学者選抜結果(2023年度実績)

学校推薦型選抜

学部・学科	推薦の種類	学業成績			キリスト者等			スポーツ			文化活動		
		定員	受験者	合格者	定員	受験者	合格者	定員	受験者	合格者	定員	受験者	合格者
文 学	英 文 学 科	32	55	55	1	0	0	4	4	4	3	1	1
	総 合 人 文 学 科	7	7	7	2	0	0	2	2	2	1	0	0
	歴 史 学 科	40	62	62	2	0	0	4	4	4	3	3	2
	教 育 学 科	6	12	12	1	0	0	2	2	2	2	1	1
経 済	経 済 学 科	60	137	137	3	0	0	27	27	27	4	0	0
	経 営 学 科	50	74	74	2	3	3	19	19	19	4	2	2
法 学	法 律 学 科	53	90	90	2	2	2	20	20	20	5	2	2
	機 械 知 能 工 学 科	27	48	48	1	0	0	3	3	3	2	1	1
工 学	電 気 電 子 工 学 科	32	62	62	1	0	0	3	3	3	2	0	0
	環 境 建 設 工 学 科	23	47	47	1	0	0	3	3	3	2	0	0
地 域 総 合	地 域 コ ミ ュ ニ ティ 学 科	20	44	44	1	0	0	9	10	9	3	2	2
	政 策 デ ザ イ ン 学 科	18	52	52	1	0	0	7	7	7	2	1	1
情 報	デ ー タ サ イ エ ン ス 学 科	34	55	55	1	0	0	11	11	11	3	0	0
人 間	心 理 行 動 科 学 科	22	42	42	2	0	0	8	8	8	3	1	1
国 際	国 際 教 養 学 科	13	29	29	3	0	0	2	1	1	2	1	1

学部・学科	推薦の種類	資格取得推薦(指定校)			資格取得推薦(公募推薦A日程)			資格取得推薦(公募推薦B日程)		
		定員	受験者	合格	定員	受験者	合格	定員	受験者	合格
経 営	経 営 学 科	15	26	26	5	27	22	5	6	2

特別選抜

学部・学科	入試の種類	社 会 人			外 国 人 留 学 生			帰 国 生		
		定員	受験者	合格者	定員	受験者	合格者	定員	受験者	合格者
文 学	英 文 学 科	1	0	0	1	0	0	若干名	0	0
	総 合 人 文 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
	歴 史 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
	教 育 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
経 済	経 済 学 科	5	0	0	1	0	0	//	0	0
	経 営 学 科	2	0	1	3	1	1	//	0	0
法 学	法 律 学 科	2	0	0	2	0	0	//	0	0
	機 械 知 能 工 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
工 学	電 気 電 子 工 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
	環 境 建 設 工 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
地 域 総 合	地 域 コ ミ ュ ニ ティ 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
	政 策 デ ザ イ ン 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
情 報	デ ー タ サ イ エ ン ス 学 科	1	0	0	1	0	0	//	0	0
人 間	心 理 行 動 科 学 科	1	2	2	1	0	0	//	0	0
国 際	国 際 教 養 学 科	1	0	0	2	0	0	//	0	0

編入学選抜

学部・学科	定員	3 年 次 編 入										2 年 次 編 入		
		推 薦		一 般 A 日 程		一 般 B 日 程		社 会 人 A 日 程		外 国 人		定員	一 般	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者		志願者	合格者
文 学	英 文 学 科	12	2	2	4	3	4	2	0	0	0	0	0	0
	総 合 人 文 学 科	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	歴 史 学 科	3	1	1	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0
	教 育 学 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
経 済	経 済 学 科	9	0	0	2	0	3	1	0	0	0	0	0	0
	共 生 社 会 経 済 学 科	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
経 営	経 営 学 科	8	2	2	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0
法 学	法 律 学 科	6	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	機 械 知 能 工 学 科	6	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0
工 学	電 気 電 子 工 学 科	6	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	環 境 建 設 工 学 科	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	情 報 基 盤 工 学 科	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教 養	人 間 科 学 科	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	言 語 文 化 学 科	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	情 報 科 学 科	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	地 域 構 想 学 科	2	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0
合 計	73	5	5	24	12	16	7	1	1	0	0	36	8	4

都道府県別志願者・受験者・合格者・入学者【全体】

※入学者数は2023年4月1日現在

都道府県	志願者	受験者	合格者	入学者
北海道	108	106	42	21
東北	13,906	13,703	7,561	2,735
関東	203	189	67	23
中部	83	80	53	11
高卒認定高卒認定	45	41	20	7
外国の学校(帰国生含む)	1	1	1	1

都道府県	志願者	受験者	合格者	入学者
近畿	21	18	8	2
中国	22	21	9	4
四国	2	2	1	1
九州	39	39	17	5
沖縄	58	54	21	8
合 計	14,488	14,254	7,800	2,818

奨学金・特待生制度

東北学院大学予約型入学時給付奨学金（LIGHT UP奨学金）

本学入学者（編入学及び大学院を除く）で勉学意欲・人物ともに優良でありながら経済的困窮状態にあるため修学困難な方が対象です。入試出願前の9月または12月に予備申請を行い、受験前に候補者として採択されます。入学時給付の諸会費計を除く学生納付金額（50ページ「学生納付金等」参照）の納付を猶予し、入学後に本採用された場合に入学時学生納付金額に充当することで奨学金を給付します。

※「高等教育の修学支援新制度」の対象者については、入学時給付の学生納付金の納入を猶予し、入学後に「高等教育の修学支援新制度」による授業料等減免額の差額をLIGHT UP奨学金として充当します。新制度による減免を受けた方は本奨学金を満額受給することはできません。

●予備申請の受付期間

I期 2023年 9月19日(火)～10月10日(火) 消印有効
※2023年12月までに実施される選抜試験が対象です。

II期 2023年12月 1日(金)～12月22日(金) 消印有効
※2024年1月から3月までに実施される選抜試験が対象です。

●予備申請の選考結果発表

I期 2023年10月31日(火) 郵送にて通知予定

II期 2024年 1月24日(水) 郵送にて通知予定

入学時負担額：29,800円

（工学部は29,500円）

※2023年度参考

東北学院大学給付奨学金（募集定員 400名[前期200名、後期200名]

全学年の学部学生及び大学院学生で学業成績・人物ともに優良であり、経済的困窮度が高く、修学困難な学生が対象です。半期150,000円、年間最大300,000円が給付されます（返還の必要はありません）。給付期間は採用された学期となり、前期と後期のどちらも申請し、受給することができます。次学期も給付を希望する場合は、新たに出願し、審査・選考を受けます。

※「高等教育の修学支援新制度」との併給はできませんが、支援区分から外れて停止中の学期は東北学院大学給付奨学金の申請は可能です。

※東北学院大学予約型入学時給付奨学金（LIGHT UP奨学金）受給者は、入学後後期から申請可能です。

東北学院大学緊急給付奨学金（参考：2022年度16名）

全学年の学部学生及び大学院学生で家計支持者の死亡・疾病・失業（定年退職を除く）等により、家計状況が急変して修学困難な学生が対象です。当該学期に納入すべき授業料に相当する額が給付されます。家計が急変した事由が発生したときから、1年以内である場合に申し込むことができます。在学中1回のみ給付となります。

東北学院大学キリスト教伝道者養成奨学金

総合人文学科全学年対象で、授業料の全額または一部が貸与されます。

貸与期間は採用された年の1年間で、次年度も貸与を希望する場合は、新たに出願し、審査・選考を受けます。

日本学生支援機構貸与奨学金（参考：2022年度第一種2,616名、第二種2,816名）

独立行政法人日本学生支援機構は、教育の機会均等に寄与するために学資の貸与など修学の援助を行い、適切な修学の環境を整備し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた人材の育成に資するとともに、国際相互理解の増進に寄与することを目的としています。

奨学金の採用については、家庭の経済状況、学力、人物、健康等について審査・選考が行われ、学長の推薦をもとに決定されます。

学部学生入学者の貸与月額（2023年度）

種別	貸与月額
第一種奨学金 （無利子）※1※2	自宅通学 20,000円、30,000円、40,000円、54,000円から選択
	自宅外通学 20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円から選択
第二種奨学金（有利子）※3	20,000円から120,000円のうち1万円単位で希望月額を選択

※1 第一種奨学金の最高月額を選択する場合は、認定所得金額が併用貸与基準を満たすことが必要。

※2 「高等教育の修学支援新制度」の給付奨学金を受給する場合は、第一種奨学金に支給制限がかかります。

※3 在学中は無利子で、卒業後年3%を上限とする利子付き。

その他の奨学金

地方公共団体奨学金は、各都道府県・市区町村等の教育委員会で扱っている奨学金であり、本学で募集推薦するものと各教育委員会に直接申し込むものがあります。詳細については、自分の出身地の教育委員会等にお問い合わせください。

民間育英団体・財団等で扱っている奨学金制度は、本学で募集推薦するものと各団体に直接申し込むものがあります。学校掲示や大学ホームページで募集します。

特待生・優等生制度（特待生／参考：2022年度82名）（優等生／参考：2022年度242名）

建学の精神を理解し、学業成績が特に優秀な学生を特待生または優等生として表彰する制度です。特待生及び優等生には奨学金が授与されます。

卒業時学業成績優秀学生の表彰制度

入学時から卒業時までの在籍期間において特に成績が優秀な学生に対し、卒業時に学長からの特別表彰があります。表彰者には記念品も授与されます。

高等教育における修学支援新制度（参考：2022年度1,122名）

2020年度より「高等教育における修学支援新制度」として、低所得者世帯の者であっても、社会で自立し、活躍することができる人材を育成する大学等に修学することができるよう、その経済的負担を軽減することにより、我が国における急速な少子化の進展への対応に寄与するため、真に支援が必要な低所得者世帯の者に対して、①給付型奨学金の支給と ②授業料等の免除が実施されています。

奨学金の採用については、家庭の経済状況、学力、人物、健康等について審査・選考が行われ、学長の推薦をもとに決定されます。

① 給付型奨学金の支給（日本学生支援機構）

給付奨学生として採用されてから原則として正規の卒業時期まで、世帯の所得金額に基づく支援区分（第I～第Ⅲ区分）に応じて、下表の金額（月額）が、原則として毎月振り込まれます。

支給月額

区分	自宅通学	自宅外通学
第I区分	38,300円(42,500円)	75,800円
第II区分	25,600円(28,400円)	50,600円
第III区分	12,800円(14,200円)	25,300円

※生活保護（受けている扶助の種類は不問。）を受けている生計維持者と同居している人及び進学後も児童養護施設等から通学する人は、上表のカッコ内の金額となります。

② 授業料及び入学金の減免

給付奨学生として採用された学生は、同様の支援区分に応じて授業料等の減免を受けることができます。

授業料減免額

（2022年度参考）

区分	前期減免額※1	後期減免額※1	年間合計額※2
第I区分	350,000円	350,000円	700,000円
第II区分	233,400円	233,300円	466,700円
第III区分	116,700円	116,700円	233,400円

入学金減免額

区分	減免額※3
第I区分	260,000円
第II区分	173,400円
第III区分	86,700円

※1 授業料減免額は、授業料の年額から支援を受けられる月数に対して、支援区分で計算されます。前期・後期の授業料減免額は、端数処理の都合上、100円単位で調整し増減する可能性があります。

※2 毎年9月に実施される適格認定により、後期の支援区分が前期と変更になる可能性があります。

※3 入学金の減免は、新入生のみ対象（入学時のみ）となります。

※奨学金制度については、変更になる可能性があります。学生課までお問い合わせください。

お問い合わせ：東北学院大学学生課 TEL 022-264-6472

学生納付金等

学生納付金等(2023年度参考)

(単位:円)

項目	文学部			工学部		
	入学時納付金(前期)	後期(10月)納付金	合計	入学時納付金(前期)	後期(10月)納付金	合計
* 入学金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授業料	390,000	390,000	780,000	539,000	539,000	1,078,000
施設設備資金	105,000	105,000	210,000	130,000	130,000	260,000
実験実習料				35,000	35,000	70,000
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
学生納付金計	775,000	505,000	1,280,000	984,000	714,000	1,698,000
後援会費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
* 同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同窓会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	800	0	800			
工学会費				500	0	500
* 学生会入会費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000
学生会費	6,000	0	6,000	6,000	0	6,000
諸会費計	29,800	0	29,800	29,500	0	29,500
1年次合計	804,800	505,000	1,309,800	1,013,500	714,000	1,727,500
2~4年次合計(年毎)	530,800	505,000	1,035,800	739,500	714,000	1,453,500
4年間合計	2,397,200	2,020,000	4,417,200	3,232,000	2,856,000	6,088,000

【注意】

- ①2024年度学生納付金等については、上記の金額が変更されることがあります。決定次第HPで発表します。また入学手続要項(合格者への配布資料)もご確認ください。
- ②本学学生納付金は、スライド制を導入しているため、在学期間中(翌年度以降)に改定されることがあります。
- ③*印は入学時だけの納入となり、入学時納付金に含まれています。

入学手続に必要な金額(2023年度参考)

(単位:円)

選抜制度	手続方法(期限)	文学部英文学科・総合人文学科 歴史学科・経済学部 経営学部・法学部	工学部
編入学選抜A日程	一括納入[全納] (10月27日まで)	804,800	1,013,500
総合型選抜A日程、学校推薦型選抜	一括納入[全納] (12月20日まで)	804,800	1,013,500
総合型選抜B日程、 資格取得による推薦B日程	一括納入[全納] (1月10日まで)	804,800	1,013,500
一般選抜前期日程、 大学入学共通テスト利用選抜、 外国人留学生特別選抜	一括納入[全納] (2月20日まで)	804,800	1,013,500
	分納 第一次手続 (2月20日まで)	270,000	270,000
	第二次手続 (3月8日まで)	534,800	743,500
一般選抜後期日程、 大学入学共通テスト利用選抜、 社会人特別選抜、編入学選抜B日程	一括納入[全納] (3月22日まで)	804,800	1,013,500

学生納付金以外に必要なお金

●教科書代

履修する授業により異なります。教科書を使わない授業もあれば、教科書(1冊数百円から数千円)を使用する授業もあります。

●ノートパソコン代

授業等でノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続の際にお知らせいたします。

●資格取得にかかる実習費等

【学部学科によって取得可能な資格が異なりますので、大学ホームページ等でご確認ください】

資格課程名	実習費等種類	金額 ※1
教育職員 (教員免許取得) ※2	教育実習費	16,000
	介護体験実習費 (小中学校免許取得の場合)	11,000
学芸員	博物館館員実習費	9,000
	見学実習費 ※3	75,000

※1 実習費等の金額については、若干変更になる部門もあります。

※2 ① 学部学科によって、取得できる免許・教科が異なります。

② 中学校教諭一種免許取得を出願条件として、2年次から4年次までの在学中3年間、聖徳大学(通信教育部)の通信科目およびスクーリング科目等を修得し、小学校教諭一種免許が取得できる「小学校教諭一種免許取得支援プログラム」があります。(学内選考のうえ決定されますが、履修に際しては、3年間で別途受講料等534,000円(予定)、小学校教育実習費10,000円が必要となります。)

※3 3泊4日京都・大阪方面【2019年度実績額】

●その他、通学の交通費、生活費などが必要となります。

【2023年度参考】(単位:円)

資格課程名	実習費等種類	金額 ※1
社会教育主事	社会教育実習費	10,000
日本語教員	日本語教育実習費	13,000
公認心理士	公認心理師実習費	25,000

(単位:円)

項目	文学部教育学科・地域総合学部 人間科学部・国際学部			情報学部		
	入学時納付金(前期)	後期(10月)納付金	合計	入学時納付金(前期)	後期(10月)納付金	合計
* 入学金	270,000	0	270,000	270,000	0	270,000
授業料	437,000	437,000	874,000	437,000	437,000	874,000
施設設備資金	125,000	125,000	250,000	125,000	125,000	250,000
実験実習料				35,000	35,000	70,000
教育充実費	10,000	10,000	20,000	10,000	10,000	20,000
学生納付金計	842,000	572,000	1,414,000	877,000	607,000	1,484,000
後援会費	16,000	0	16,000	16,000	0	16,000
* 同窓会入会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
同窓会費	3,000	0	3,000	3,000	0	3,000
学術研究会費	800	0	800	800	0	800
工学会費						
* 学生会入会費	1,000	0	1,000	1,000	0	1,000
学生会費	6,000	0	6,000	6,000	0	6,000
諸会費計	29,800	0	29,800	29,800	0	29,800
1年次合計	871,800	572,000	1,443,800	906,800	607,000	1,513,800
2~4年次合計(年毎)	597,800	572,000	1,169,800	632,800	607,000	1,239,800
4年間合計	2,665,200	2,288,000	4,953,200	2,805,200	2,428,000	5,233,200

④入学年度後期の学生納付金は10月に納入することになり、その振込依頼書は7月下旬を目安に送付します。

⑤入学翌年度からの学生納付金は、一括または前期(5月)と後期(10月)の2期に分けて納入することになり、その振込依頼書は4月下旬を目安にまとめて送付します。

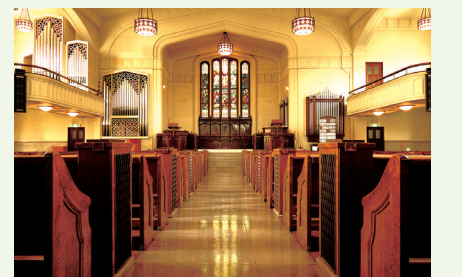
(単位:円)

選抜制度	手続方法(期限)	文学部教育学科 ・地域総合学部 人間科学部・国際学部	情報学部
編入学選抜A日程	一括納入[全納] (10月27日まで)	871,800	906,800
総合型選抜A日程、学校推薦型選抜	一括納入[全納] (12月20日まで)	871,800	906,800
総合型選抜B日程、 資格取得による推薦B日程	一括納入[全納] (1月11日まで)	871,800	906,800
一般選抜前期日程、 大学入学共通テスト利用選抜、 外国人留学生特別選抜	一括納入[全納] (2月22日まで)	871,800	906,800
	分納 第一次手続 (2月22日まで)	270,000	270,000
	第二次手続 (3月8日まで)	601,800	636,800
一般選抜後期日程、 大学入学共通テスト利用選抜、 社会人特別選抜、編入学選抜B日程	一括納入[全納] (3月22日まで)	871,800	906,800

「大学礼拝」について

キリスト教を建学の精神とする本学では、授業開講日において、土樋キャンパスの礼拝堂と五橋キャンパスの押川記念ホールで、定められた時間に、讃美歌を歌い、聖書を読み、説教に耳を傾け、祈りをささげます。

本学の学生にとって、この礼拝への参加は、普通の講義への出席と同様、権利であるとともに義務です。試験当日には、監督者から大学礼拝についての説明があり、質問がある場合には担当教員が応対いたします。



ラーハウザー記念東北学院礼拝堂

LIFE LIGHT LOVE



東北学院大学

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp>

東北学院大学

検索



スマホの方は上の
二次元コードからも
ご覧いただけます。

お問い合わせ

東北学院大学 アドミッションズ・オフィス
〒980-8511
仙台市青葉区土樋一丁目3番1号
TEL.022-264-6455 FAX.022-264-6377
E-mail : nyushi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

資料請求について (大学案内・受験ガイド)



TEL
022-264-6455



FAX
022-264-6377



ホームページ
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/>



E-mail
nyushi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



ハガキ
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

お問い合わせ

東北学院大学 アドミッションズ・オフィス
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1
TEL:022-264-6455 FAX:022-264-6377
nyushi@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



携帯・スマホ：コチラからも
資料請求ページへアクセス
できます